

令和元年度

滝川市の教育



滝川市教育委員会

滝川市民憲章

わたしたちは、母なる石狩川と空知川の寄りあう自然に恵まれた誇りある滝川の市民です。

わたしたちは、風雪のきびしさに耐えて生きぬいた開拓者の精神をしっかりと受けつぎ、たくましい、知性ゆたかな市民として明るい生き生きとした滝川市の発展につとめます。

- からだをきたえ、しごとにはげみ、明るい家庭をつくります。
- きまりを守り、力をあわせて、住みよい社会をつくります。
- 教育をたいせつにし、文化をひろめ、豊かな郷土をつくります。
- 緑を育て、環境をよくし、美しいまちをつくります。
- 未来に目をひらき、産業をおこし、新しい都市をつくります。

(昭和45年9月12日制定)



市の花

(昭和43年2月23日制定)
ツツジ



(昭和63年1月1日制定)
コスモス



市の木

(昭和43年2月23日制定)
プラタナス

令和元年度教育行政執行方針・・・・・・・・・・滝川市教育委員会

I.基本方針

令和元年度の教育行政の基本的な考えと重点施策について申し上げます。

これからの社会は、人工知能やビッグデータ等の技術革新、グローバル化の進展により社会が加速度的に変化することが予想されています。国においては、第3期教育振興基本方針が策定され、「超スマート社会(Society5.0)」の実現に向けた技術革新が進展する中、「人生100年時代」を豊かに生きていくため、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が将来を展望した教育施策の重点事項と位置づけられました。

また、学校教育においては、新しい時代に求められる資質・能力を『生きて働く「知識・技能」の習得』、『未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成』、『学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養』の3つに整理し、社会や世界との接点を重視しながら育成する「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。

こうした中、教育委員会といたしましては、教育大綱及び教育推進計画で定めた「未来を拓く『たきかわっ子』の育成」と「誰もが学び、誰でも参加できる環境づくり」という2つの基本理念に基づき、大きく変化し続ける社会において、自立し、力強く未来を拓く人づくり、生涯にわたり学び続け、生きがいをもって活躍できる環境づくりを目指し、地域(社会)と連携・協働して教育行政を推進してまいります。

II.重点施策

はじめに、「学校教育について」申し上げます。

学力向上については、児童生徒の学習内容の定着状況や課題を把握・分析し、その改善方策を計画的に推進するため、「学力向上プラン」を作成するとともに、校長のリーダーシップによる組織的な授業改善や家庭での学習習慣の確立に向けた保護者との連携など、継続的な取り組みを進めます。

また、北海道教育委員会が作成する学力向上ロードマップを活用し、重点的な課題や改善方策を共有・連携しながら、学力向上に努めます。

家庭での学習習慣の定着を図るため、学習の内容や目安等をまとめた「家庭学習の手引き」を活用し、子どもの学習意欲を支える環境づくりを啓発するとともに、外部人材の登用やチャレンジテストの活用により、児童生徒の放課後及び長期休業期間中の学習機会の拡充を図ります。

体力向上については、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から、本市児童生徒の課題となっている「走力」を伸ばすため、滝川市教育振興会による体力向上事業等に積極的に取り組みます。

グローバル社会に生きる子どもたちが、国内外において多様な文化を理解し、異なる言語の人々と交流していくためには、外国語教育の充実はもとより、国際感覚を磨き、多様性を理解できる能力の育成が重要です。

こうした中、小学校では次期学習指導要領への移行に伴い、外国語科及び外国語活動の授

業時数が増加し、中学校では今年度の全国学力学習状況調査において英語が新たに加わります。また、大学入試においても民間英語試験が活用されるなど、英語力の強化に向け教育環境が変化しております。

本市においては、英語力の向上に重点を置き、外国語指導助手(ALT)の配置や市内中学校に整備された英語ルームの充実、放課後や長期休業期間を活用した外国語教育の充実に取り組めます。

また、「英語能力判定テスト(英検IBA)」や千歳科学技術大学との連携による自学自習システム「e-ラーニング」の継続的な実施を通じて、生徒が自らの英語力を把握する機会を提供し、資格取得への意欲化を図るとともに、課題把握と授業改善に活用してまいります。

北海道教育委員会の「外国語活動巡回指導教員研修事業」を活用し、滝川第二小学校を拠点校として英語指導力の強化を図ります。

子どもたちを取り巻く環境や課題が複雑化・多様化する中、学校に対する期待や役割はますます高まっており、結果として教職員の長時間勤務が顕在化しております。こうしたことから、「学校における働き方改革・教職員業務改善推進プラン」に基づき、教職員が授業や授業準備など、本来担うべき業務に専念できるよう、専門スタッフの配置や学校サポート体制を充実するなど、教職員の負担軽減を図ります。

普通学級に在籍する児童生徒に対して、きめ細やかな学習指導や教育相談などの充実を図るため、「学びサポーター」を配置するほか、特別支援学級には、日常の学校生活の介助や学習活動をサポートするため、「特別支援学級支援員」を配置します。

学校生活に不安や悩みがある児童生徒や子育て等に関する悩みがある保護者への対応を充実させるため、専門スタッフとして「スクールカウンセラー」や「スクールソーシャルワーカー」を配置し、教育相談を推進します。

不登校や学校になじめない児童生徒の学校復帰実現に向け、「適応指導教室」において学習の遅れを取り戻す指導や多様な体験活動を通じた社会性・コミュニケーション能力の向上に取り組むとともに、協定を結んでいる赤平市、新十津川町と情報共有を図ります。

市独自のサポート体制として、児童一人ひとりとしっかり向き合い、きめ細やかな指導と見守りを行うため、小学校3・4年生を対象に「35人学級制度(少人数学級実践事業)」を引き続き推進します。

小中学校の校務用パソコン更新に合わせ、教職員の事務負担を軽減するため、校務支援システムの導入を進めるほか、北海道教育委員会の事業により明苑中学校に「スクールサポートスタッフ」を配置し、学校事務の負担軽減を図ります。

学校を核とした地域の教育力を高めるため、学校が地域住民や保護者と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育てるよう、「コミュニティ・スクール制度」を導入します。

学校のニーズを把握し、教育活動を支援する仕組みである、「学校支援地域本部事業」を推進し、技術や技能を提供する地域ボランティアを派遣するなど、学校と地域の協働性を高めます。

市内事業所と協働した「キャリア教育」を推進し、望ましい職業観・勤労観を育むとともに、将来の地元定着への一助となるよう、ふるさとで生きることへの児童生徒の思いを深め、豊かな人間性、社会性を育成します。

いじめの未然防止や児童生徒の問題行動の把握と早期発見・早期対応を図るため、年2回の「いじめ実態調査」による実態把握と教育相談体制の確立及び情報共有を進めるとともに、「絆づくり成果交流会」を主軸とし、小中連携した「いじめのない学校づくり」に主体的に取り組む児童生徒の活動を支援します。

児童生徒の「生命を大切に作る心」や「倫理観・規範意識」を育むため、道徳科授業の効果的な指導の在り方について検証する、市独自の「道徳教育推進事業」を引き続き実施し、研究成果を教職員に発信するとともに、学校が家庭・地域と一体となった双方向型の道徳科授業を推進します。

教職員が、豊かな人間性や社会性、高い指導力と技能を身につけられるよう、専門職員としての資質・能力の向上を図るとともに、教育の今日的課題に対応するため、空知教育センターと連携し、研修会等への参加促進に努めます。

東小学校において、北海道教育委員会の「学校力向上に関する総合実践事業」に取り組むことを通して、全校が一つのチームとなった包括的な学校改善を推進する「学び続ける学校」のモデルを提示し、実践の成果を市内小中学校に広げるとともに、業務の効率化や人材育成に資する新たな学校モデルを構築します。

明苑中学校において、北海道教育委員会の「中1ギャップ問題未然防止事業」に取り組むことを通して、校区の小学校との間に「中1ギャップ検討委員会」を設置し、児童の学習環境や生活環境等の変化への適応をスムーズにするとともに、児童生徒の人間関係づくりの能力の育成や小・中学校間の連携の促進、家庭や関係機関との情報共有を図るなど、中1ギャップ問題の解消に取り組めます。

特別支援教育については、滝川市教育支援委員会において、子どもや保護者に寄り添った教育相談を実施し、望ましい就学の場の検討を行うとともに、福祉部局と連携して「個別的教育支援計画」を作成するなど、障がいのある子ども一人ひとりに、早期からの適切な指導及び支援を行います。

家庭環境や心身・発達の障がいなど、子どもを取り巻く諸課題の解消に向けた支援方策の検討を進めるため、家庭児童相談室、こども発達支援センター等と情報共有を行うなど、子育て支援施策との連携を強化します。

幼・保・小の連携については、「市内幼稚園・保育所・小学校連携推進研修会」を江部乙小学校で開催するとともに、「小学校入学に係る引継ぎ会」などの情報交換会を開催し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続と連携を図ります。

学校給食については、給食調理を専門とする民間企業が持つノウハウを活用した学校給食調理の外部委託の可能性について調査を行います。

むし歯予防のため、フッ化物洗口を中学2年生まで拡大し、歯と口腔の健康づくりを推進します。

学校の適正配置については、江部乙中学校の江陵中学校への統合に関して、統合準備委員会を設置し、環境の変化に伴う両校生徒の負担の軽減に配慮しながら、統合に向けた準備を進めます。

学校施設の整備については、滝川第二小学校体育館床改修工事を実施するほか、施設の安全点検を定期的に行うとともに、各学校の教育環境の充実のため、児童生徒用の机・いすの計画的な更新を進めます。

滝川西高等学校については、令和4年度より実施される新学習指導要領に則り、新1年生より総合的な学習の時間に「探究活動」を取り入れ、「総合的な探究の時間」として実施します。

学科転換から2年目を迎えた情報マネジメント科については、高度な専門性とマネジメント能力を備えた将来のビジネスリーダーとして、地域社会を担う人材を育成するため、地元企業と連携した商品開発や販売実習、簿記や情報処理、英検など資格の取得に取り組みます。普通科については、一人ひとりの進路実現を目指すため、基礎的・基本的な学力の定着を図り、選択科目による学習環境を整え、大学入試等に対応した教育を実施します。

英語教育・国際理解教育については、生徒の英語力やコミュニケーション能力の向上を図るため、2名の外国語指導助手(ALT)を活用して、英語の4技能をバランスよく習得できる授業を展開します。姉妹校であるアメリカ・ロングメドール高校、並びに交流提携校であるスウェーデン・ヴィトフェルスカ高校との短期留学事業の継続や、文部科学省の「スーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)・アソシエイト校」の指定を生かした教育実践を推進します。

キャリア教育については、多様な進路を支援するため、進路ガイダンス機能を充実させ、キャリアプランニング能力を養うとともに、放課後講習などの学習支援体制の充実により、就職希望者全員の内定と国公立大学への進学者数増を目指します。

高大連携事業については、大学進学の意味を考えさせ、進路選択の一助とするために、小樽商科大学や、北海道医療大学、國學院大學北海道短期大学部等と連携し、大学見学やアクティブラーニング型の授業体験講義などを実施します。

つぎに、「社会教育について」申し上げます。

家庭教育支援事業については、子どもたちに関わるネットトラブルを未然に回避できるように、保護者向け情報紙の発行、PTA連合会や関係機関等と連携し、フィルタリング設定や家庭でのルールづくりなど、ネットトラブルの防止に向けた啓発を行うほか、小・中学生の携帯電話等の利用に関する意識調査を実施し、今後の対策を検討します。

次代を担う子どもたちの健全な育成を推進するため、地域、町内会等で実施する登下校時の見守り活動や各青少年育成会の特色ある体験学習活動等を支援します。また、地域の教育力を高め、育成会等の活動の活性化を図るため、北海道教育委員会と連携して、地域の子どもの育成に係る課題の検討会や地域活動の指導者等への研修会などを実施します。

生涯学習活動については、高齢者の生涯学習の環境を充実するため、昨年度、滝川生涯学習振興会事業として開講した高齢者の学びの場「いきいきカレッジ」への支援を引き続き行います。

市民の文化芸術活動を推進するため、文化団体等との連携や支援を通して、市民の芸術鑑賞、発表の機会を提供します。

また、子どもたちが身近な場所で優れた芸術や音楽鑑賞などの体験を通して、より豊かな心や感性を育めるよう、滝川第一小学校、西小学校でプロの演奏楽団を派遣するアウトリーチ事業を実施します。

美術自然史館では、日本画家・岩橋英遠の芸術振興を図るため、特別展「道産子の魂 アトリエの英遠」を開催します。今回の特別展では、昨年NPO法人岩橋ふるさと北辰振興会から寄贈を受けた自宅アトリエに残されていた日本初公開となる貴重な作品・資料等を展示するほか、アトリエの様子も会場に再現し、今まで知られていなかった創作の過程も紹介しながら、岩橋英遠の

“道産子の魂”に迫ります。

また、本年9月から北海道立旭川美術館で開催される「没後20年 岩橋英遠展」においては、同館からの要望に応え、美術自然史館が収蔵する作品をはじめ、スケッチ等の資料や遺品を出品するなど、英遠芸術の振興をより一層推進するため、連携を図ります。

こども科学館では、子どもたちが科学への興味を持つきっかけをつくるため、「月イチリカ室」、「土曜リカひろば」等の各種事業を継続するほか、昨年度から開設した、来館時にいつでも気軽に工作を楽しむことができるコーナー「サイエンステーブル」を引き続き常設します。

図書館については、幅広い情報を市民に提供し、より魅力のある図書館とするために、各種機関・団体、北海道内外の図書館との連携をさらに強化します。

子どもの読書活動については、昨年度策定した「第2次滝川市子どもの読書活動推進計画」に基づき、読書環境の整備や読書活動を推進し、子どもたちの読書習慣の定着を図るとともに、「滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール」を引き続き実施し、子どもたちの学ぶ力や考える力を育むほか、「調べる学習体験講座」を実施するなど、調べ学習を支援します。また、知的書評合戦「ビブリオバトル」を開催し、読書の楽しさの啓発と本の情報の共有により、中・高校生への読書普及を図ります。

最後に、「スポーツの振興について」は、

スポーツ活動による体力づくりを推進するため、気軽に参加できる「えべおつ丘陵地マラニック」や「たきかわコスモスマラソン」を滝川市体育協会や市民ボランティア、市内各団体と連携して開催します。

開設3年目を迎える石狩川河川敷パークゴルフ場については、豊かな自然と広大な敷地を生かして、家族やグループなどが楽しく過ごせるコミュニティの場として充実するよう、環境づくりに取り組みます。

スポーツにおけるノーマライゼーションを推進するため、小学校においてアダプテッドスポーツの出前授業を実施し、体験を通してより理解が深められるように取り組みます。

教育委員会といたしましては、新しい時代を力強く生き抜き未来の創り手となる人づくり、自ら学び成長を続ける生涯学習の環境づくりに取り組むとともに、滝川で学び、滝川で育ったことに喜びと誇りを持つことができるよう、そして、生きがいをもって心豊かに暮らすことができるよう、学校、家庭、地域と一丸となって教育行政を全力で推進してまいります。

以上、令和元年度の教育行政執行方針について、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

～滝川市の目指すべき教育のすがた～

- 策定経緯：教育基本法の改正により教育の振興のための施策に関する基本的な計画を、市町村は、定めるよう努めることが規定されています。
- 策定目的：本市教育の中・長期的な展望に立ち、「教育のまち たきかわ」を誇りとする、更なる深化・充実を図るため策定しました。
- 目指すべき教育のすがた
今後 10 年先を見据えた教育のすがたを、2 つの基本理念としてまとめました。
【学校教育】社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く生きる力を育成する。
【社会教育】子どもから高齢者まで健やかに充実した人生を送ることができ生涯学習環境を作る。

1 未来を拓く「たきかわっ子」の育成

- 確かな学力や人との関係づくりの基礎となるコミュニケーション能力など、社会で生きていくために必要な基礎的・基本的な資質と能力を育てます。
- 自立の精神を育み、自らの夢や希望を実現していこうとする主体性と行動力を育てます。
- 豊かな感性を育み、生命を尊重し、人を思いやる心や公共心、規範意識や倫理観などを育てます。
- 郷土の自然、歴史、文化、産業への理解を深め、将来の滝川を担っていこうとする意識を育てます。

2 誰もが学び、誰でも参加のできる環境づくり

- 子どもから高齢者までの生涯各期における自主的な学習活動を支援し、心豊かな人生が送れる生涯学習社会を実現します。
- 地域文化の継承と創造を担う人材を育成し、市民主体の文化芸術活動を推進します。
- スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、健康な心と体づくりを推進します。
- 学習意欲に応え、学びを通じ交流と活動が生まれる社会教育施設を充実します。

第 2 期教育推進計画

事業項目 平成 29 年度～33 年度

I 知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む

(1)確かな学力の育成

- ①学力向上に係る取組の推進
- ②外国語教育の充実
- ③少人数学級実践研究事業の推進
- ④学校サポート事業の推進
- ⑤学習成果の表現・発表機会の提供
- ⑥家庭学習の定着

(2)豊かな人間性の育成

- ①道徳教育の推進
- ②心の教育推進事業の充実
- ③職業観・勤労観やボランティア精神を養う活動の推進
- ④読書活動の充実
- ⑤郷土の歴史・自然・文化等を生かす教育の推進

(3)健やかな体の育成

- ①食育の推進
- ②体力・運動能力の向上
- ③歯科など保健指導の推進

II 子どもの学びを支える教育環境を整える

(4)意欲と指導力のある教職員の育成

- ①指導主事の学校訪問による教育指導の充実
- ②学校評価の推進
- ③ I C T 等を活用した教職員の授業力の向上
- ④教職員研修・研究の充実

(5)安全安心な学校づくりの推進

- ①小・中学校改築等施設整備の推進
- ②学校給食施設整備の推進
- ③登下校の安全対策の推進

(6)市立高等学校の充実

- ①市立高等学校の将来ビジョンの策定
- ②進路サポートの充実
- ③英語教育・国際理解教育の推進
- ④専門教育の充実
- ⑤高大連携の拡充

III 多様な教育的支援の充実を図る

(7)特別支援教育の充実

- ①個に応じた支援の充実
- ②通級指導教室における指導・支援の充実
- ③早期からの一貫した支援体制の充実

(8)不登校等問題行動のある児童生徒への支援の充実

- ①学校適応指導教室運営の充実
- ②教育相談体制の充実

IV 学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす

(9)子どもたちの健全育成の推進

- ①情報モラルの徹底
- ②家庭教育支援の推進
- ③地域と学校との連携による教育活動の支援
- ④地域の教育力を生かした健全育成活動の推進

(10)子どもに関わる施策や活動との連携

- ①幼稚園・保育所・小学校の連携の推進
- ②幼稚園児の個別の教育支援の充実
- ③子育て支援施策との連携

V 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える

(11)生涯学習活動の推進

- ①幅広い年齢層に応じた学習機会の支援
- ②生涯学習情報の提供
- ③学習成果の活用
- ④グループ・サークル活動の支援

(12)スポーツに親しめる環境の整備

- ①スポーツ・レクリエーション活動の支援
- ②「子どもの体力づくり」事業の支援
- ③スポーツにおけるノーマライゼーションの推進
- ④スポーツ施設の整備・充実

(13)地域の文化活動の振興

- ①芸術鑑賞・発表機会の充実
- ②子どもの文化体験活動の提供
- ③地域資料の保存・研究
- ④人材の発掘・育成
- ⑤文化施設の整備・充実

(14)図書館活動の充実

- ①生涯学習と地域の情報拠点としての図書館の充実
- ②子どもの読書活動の推進

～ も く じ ～

I 教育行財政

1	教育委員会	1
2	歴代教育委員	1
3	教育委員会事務局組織等機構図	3
4	滝川市の教育の歩み	4
5	予算の概要	10

II 学校教育

1	幼児教育	11
2	義務教育	12
	小学校	12
	中学校	15
	中学生の進路状況	17
	小・中学校の児童生徒数及び学級数	17
	児童生徒数の推移	18
	通級指導教室事業	18
	適応指導教室事業	18
	特別な支援を要する児童生徒の就学状況	19
	学校給食	20
3	高等学校教育	21
4	専修学校・大学教育	22

III 社会教育

1	社会教育	23
	家庭教育の支援	23
	青少年の健全育成	23
	地域の教育力の活用	24
	生涯学習活動の推進	24
	社会教育施設の概要	25
2	芸術文化	26
	市民による文化芸術活動の支援	26
	優れた芸術鑑賞機会の提供	26

	陶芸センターの振興	26
	文化施設の概要	27
3	スポーツ	28
	体育指導及び振興	28
	体育施設の整備	28
	東京オリンピック・パラリンピック連携事業	28
	スポーツ施設の概要	29
4	図書館	33
	地域の情報・生涯学習拠点事業	33
	連携事業	34
	こどもの読書普及事業	35
	なかそらち図書館ネットワーク推進事業	37
	図書館の概要	37
5	博物館	38
	美術自然史館事業	38
	こども科学館事業	39
	郷土館事業	40
	文化財保護・活用事業	40
	博物館の概要	41

Ⅳ その他

1	空知教育センター組合	42
2	一般財団法人 滝川生涯学習振興会	43
3	一般財団法人 滝川市体育協会	44
4	滝川市文化連盟	45

Ⅴ 資料編

1	各種審議会等	46
2	教育関係団体等一覧	49
3	芸術文化団体一覧	50
4	スポーツ団体一覧	52
5	滝川市の文化財	53

I 教育行財政

1 教育委員会

職 名	氏 名	就 任 日	任 期 等
教 育 長	山崎 猛	平成27年 6 月27日	平成30年 6 月27日～令和 3 年 6 月26日 2 期目
職務代理者	田代 雄一	平成27年 6 月27日	令和元年 6 月27日～令和 5 年 6 月26日 2 期目
教育委員	朝日 幸世	平成25年 5 月14日	平成29年 5 月14日～令和 3 年 5 月13日 2 期目
教育委員	芳村 敦子	平成26年 5 月28日	平成30年 5 月28日～令和 4 年 5 月27日 2 期目
教育委員	蜂矢 忠昭	平成28年 5 月24日	平成28年 5 月24日～令和 2 年 5 月23日 1 期目

2 歴代教育委員 (昭和46年 4 月 1 日合併以降)

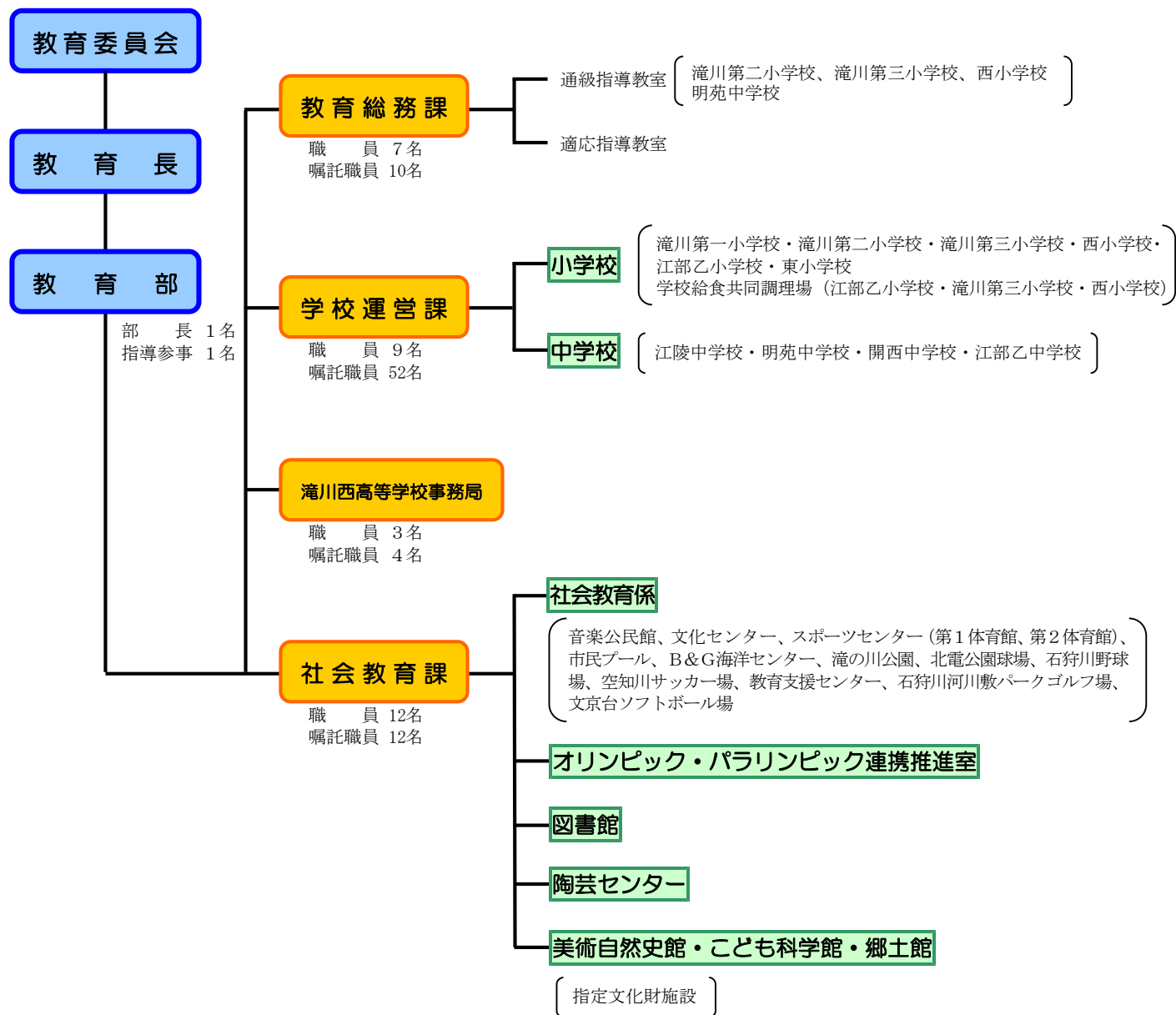
氏 名	在 任 期 間	備 考	(委員長在任期間)
中川 正	昭和46年 4 月 1 日～昭和47年 5 月23日	委員長	昭和46年 4 月 1 日～昭和47年 5 月23日
堀田 武司	昭和46年 4 月 1 日～昭和50年 5 月12日	委員長	昭和47年 5 月29日～昭和50年 5 月12日
岡本 義雄	昭和46年 4 月 1 日～昭和50年 5 月12日	教育長	
畑原 喜之助	昭和46年 4 月 1 日～昭和48年 5 月13日		
田中 正雄	昭和46年 4 月 1 日～昭和54年 8 月26日		
渡邊 恭久	昭和47年 5 月24日～昭和63年 5 月23日	委員長	昭和62年 5 月13日～昭和63年 5 月12日
山本 義郎	昭和48年 5 月14日～昭和52年 5 月13日		
猪口 英之助	昭和50年 5 月13日～昭和58年 5 月12日	委員長	昭和50年 5 月13日～昭和58年 5 月12日
綱淵 正幸	昭和50年 5 月13日～昭和62年 5 月12日	教育長	
三栗 自然	昭和52年 5 月14日～平成 5 年 5 月13日		
千葉 武幸	昭和54年 9 月14日～昭和58年 1 月19日		
山口 貞明	昭和58年 1 月20日～平成 2 年 5 月12日		
樋口 昭二	昭和58年 5 月13日～平成11年 5 月12日	委員長	昭和58年 5 月13日～昭和62年 5 月12日 昭和63年 5 月13日～平成11年 5 月12日
本間 茂	昭和62年 5 月13日～平成11年 5 月12日	教育長	
高野 トシ	昭和63年 5 月24日～平成12年 5 月23日	委員長	平成11年 5 月28日～平成12年 5 月23日
小出 孝	平成 2 年 5 月28日～平成14年 5 月27日	委員長	平成12年 5 月24日～平成14年 5 月23日
木村 耀子	平成 5 年 5 月14日～平成17年 5 月13日		
安西 輝恭	平成11年 5 月13日～平成18年10月14日	教育長	

氏 名	在 任 期 間	備 考	(委員長在任期間)
了輪 隆	平成11年 5 月13日～平成18年10月16日	委員長	平成14年 5 月28日～平成18年10月16日
上田 英二	平成18年12月20日～平成19年 5 月12日		
高谷 富士雄	平成14年 5 月28日～平成19年 9 月30日		
中山 公子	平成12年 5 月24日～平成20年 5 月23日	委員長	平成18年12月21日～平成20年 5 月23日
篠島 恵里子	平成17年 5 月14日～平成25年 5 月13日		
鷲尾 昌法	平成19年10月 1 日～平成26年 5 月27日		
若松 重義	平成19年 6 月27日～平成27年 6 月26日	委員長	平成20年 5 月26日～平成27年 6 月26日
小田 真人	平成19年 6 月27日～平成27年 6 月26日	教育長	
野地 和英	平成20年 5 月24日～平成28年 5 月23日		

3

教育委員会事務局組織等機構図

(令和元年 7 月 1 日現在)



4

滝川市の教育の歩み

年 月	で き こ と
明治23年 1 月	北海道庁令第 1 号をもって滝川村設置
12 月	屯田兵村に私立南・北小学校開校
25年11月	私立南・北小学校を統合し、私立滝川小学校開校（滝川第二小前身）
26年11月	公立空知尋常小学校開校（滝川第一小前身）
27年10月	公立滝川北尋常小学校開校（北辰小前身）
28年 1 月	私立滝川小学校を公立滝川尋常高等小学校に移管
29年12月	公立滝川北尋常高等小学校を公立北辰尋常高等小学校と改称
40年 4 月	滝川尋常高等小学校幌倉特別教授所設置（東栄小前身）
41年 5 月	空知尋常高等小学校分教場設置
6 月	幌倉特別教授所を滝川尋常高等小学校幌倉分教場と改称
42年 4 月	滝川村より江部乙分村
12 月	空知尋常高等小学校を滝川第一尋常高等小学校と、滝川尋常小学校を滝川第二尋常小学校と、幌倉分教場を滝川第二尋常小学校幌倉分教場とそれぞれ改称 滝川第一尋常高等小学校空知太分教場設置（滝川第三小前身）
43年11月	滝川町制施行
大正 4 年 9 月	江部乙第二小学校開校（東陽小前身）
7 年 4 月	滝川第一尋常高等小学校空知太分教場を独立させ滝川第三尋常小学校開校
9 年 4 月	庁立滝川中学校開校（滝川工業高校前身）
6 月	北辰尋常小学校熊之沢分教場開校（旭沢小前身）
11年 4 月	滝川第二尋常小学校幌倉分教場を独立させ、滝川第四尋常小学校開校
昭和 4 年 5 月	町立滝川高等女学校開校（滝川高校前身）
6 年 4 月	町立滝川高等女学校を庁立に移管
10年 8 月	青年学校開校
14年 4 月	青年学校義務制実施（昭和22年廃止）
15年10月	開町50周年記念式挙行
16年 4 月	町民学校令により各小学校を国民学校と改称
17年 4 月	町立夜間中学校開校（庁立滝川中内）
21年 4 月	江部乙村立北辰農業学校開校（滝川北高校前身）
22年 5 月	学制改革により国民学校を小学校と中学校に分離 第一中学校（第一小内）、第二中学校（第三小内）、第一中学校分校（第二小内）、第二中学校分校（第四小内）、北辰中学校（北辰小内）、北辰中学校東陽分校（東陽小内）開校
23年 1 月	第二中学校を第三中学校に校名変更 第一中学校二の坂分校を第二中学校（第二小内）、第二中学校幌倉分校を第四中学校（第四小内）とする
4 月	滝川第一小学校滝泉台分校開校（西小前身） 学制改革により庁立滝川中学校は道立滝川高等学校、庁立滝川高女は道立滝川女子高等学校、町立中学校は道立滝川高等学校夜間課程、村立北辰農業学校は村立江部乙農業高等学校と改称
24年 4 月	東陽中学校開校
8 月	町営滝川球場オープン
11月	旭沢小学校開校（昭和47年閉校）
25年 4 月	道立滝川高等学校は道立滝川西高等学校、道立滝川女子高等学校は道立滝川東高等学校と改称
7 月	村立江部乙農業高等学校は村立江部乙高等学校と改称
26年 4 月	第一中学校と第二中学校を併合して江陵中学校、第三中学校を明苑中学校、第四中学校を東栄中学校と改称

年 月	で き ご と
昭和27年 4 月	第四小学校を東栄小学校と改称 江部乙町制施行 空知教育研究所開設（江陵中学校内）
11月	滝川町・江部乙町各教育委員会設置 道立滝川東高等学校幌倉分校独立
28年 4 月	道立滝川東高等学校幌倉分校を北海道滝川東栄高等学校に改称（昭和41年閉校） 北辰小学校南・北分校開校
5 月	滝川幼稚園開園（願成寺内）
29年 4 月	道立滝川東高等学校を滝川高等学校、道立滝川西高等学校を滝川工業高等学校と改称
31年 4 月	滝川第一小学校滝泉台分教場を廃止し西小学校開校
32年 4 月	町立江部乙高等学校を道に移管
33年 7 月	滝川市制施行
34年 4 月	今野学園滝川商業高等学校開校
37年 4 月	開西中学校開校
7 月	中央児童センター開館
38年10月	私立えべおつ幼稚園開園
43年 2 月	滝川市の木「プラタナス」、花「ツツジ」を制定
4 月	空知教育研修センター組合設立
44年 3 月	白樺幼稚園開園
4 月	北辰中学校と東陽中学校を統合し、江部乙中学校開校 滝川高等看護学院開設
45年 9 月	市民憲章制定
46年 4 月	滝川市、江部乙町合併による新市制施行 青年体育センターオープン
47年 6 月	滝の川運動公園内に市営球場オープン
48年 3 月	私立滝川商業高等学校閉校により市に移管
4 月	北海道滝川西高等学校開校
6 月	文化センター、図書館開館
49年 8 月	巡回文庫（プラタナス号）開始
9 月	陸上競技場オープン
50年 4 月	北辰小学校、北辰小学校南分校、北辰小学校北分校及び東陽小学校を統合し江部乙小学校開校
51年 4 月	滝川第三小学校に言語治療教室開設
52年 4 月	おおぞら幼稚園開園
6 月	郷土館開館
11月	自然の家開館
53年 4 月	江部乙高等学校を北海道滝川北高等学校と改称
6 月	陶芸センター開所
8 月	東小学校開校 朝日町児童館開館
54年 3 月	滝川スポーツセンターオープン
4 月	北滝の川児童館開館
55年 4 月	明苑中学校と東栄中学校の統合による明苑中学校開校
8 月	空知川にて海牛化石を発見し発掘
9 月	郷土館分館「華月館」開館
12月	花月町児童館及び中央公民館花月分館開館
56年 3 月	滝川工業高等学校定時制課程閉課
4 月	中央公民館・働く婦人の家（総合福祉センター内）開館
9 月	屯田兵屋復元完成

年 月	で き ご と
昭和56年12月	東地区公民館開館（現音楽公民館） 泉町児童館開館
57年 4月	栃木市との友好親善都市提携盟約 國學院女子短期大学開学 みずほ幼稚園開園 東滝川児童館開館
6月	牧羊用サイロ移転復元
8月	滝川滑空場オープン
11月	教育委員会設置30周年並びに市立学校不燃化達成記念式挙行
12月	学習等供用施設（中央児童センター）開館 西地区公民館・児童センター開館 空知太スキー場オープン
58年 7月	市制施行25周年記念式挙行 航空科学館開館
10月	航空科学研修センター開館
11月	北地区公民館・児童センター開館
59年 3月	タキワカイギョウ化石標本が北海道指定の天然記念物に決定
4月	サイクリングターミナルオープン
9月	空知川河川敷ゲートボール場オープン
10月	大町児童館開館
11月	中地区公民館・児童センター開館
60年 4月	滝川市生涯学習振興会発足
11月	温水プールオープン
12月	江部乙公民館・児童館開館
61年 9月	美術自然史館開館
11月	緑地区公民館・児童館開館
62年12月	東地区公民館・児童館開館
63年 1月	滝川市の花として「コスモス」を追加制定
7月	市制施行30周年記念式挙行
8月	第70回全国高等学校野球選手権大会に滝川西高等学校が初出場
平成元年 4月	健康都市宣言
12月	大町地区児童センター開館
2年 4月	西地区公民館分館開館
7月	滝川市開基百年記念式挙行
9月	川の科学館開館
12月	本町地区公民館・児童センター開館
3年 2月	開基百年記念塔オープン
3月	こども科学館開館
4年 3月	ゲートボール場（スパーク滝川）開館
5年 4月	黄金町児童館開館 滝川西高等学校が商業科4間口を会計ビジネス科2間口、情報ビジネス科2間口に学科転換 通級指導教室を滝川第三小学校に開設
7月	航空動態博物館開館
12月	川の科学館を、（財）石狩川振興財団に移管 扇町児童館開館
6年 3月	第66回選抜高等学校野球大会に滝川西高等学校が推薦を受け出場
7月	B & G 海洋センターオープン
7年 3月	滝川西高等学校が商業科を学科転換により閉科
7月	適応指導教室を中央児童センターに開設

年 月	で き ご と
平成10年 3 月	自然の家閉館 北滝の川児童館は統廃合により閉館 緑地区児童館は統廃合により閉館
8 月	第80回全国高等学校野球選手権記念大会に滝川西高等学校が出場
11年 4 月	勤労青少年ホーム（体育センター）と働く婦人の家が、社会教育部所管となる
12年 3 月	泉町児童館は統廃合により閉館 本町地区児童館は統廃合により閉館 北海道滝川北高等学校閉校
13年 2 月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州スプリングフィールド工科高等学校と姉妹校提携調印
3 月	旧北海道滝川北高等学校校舎等を北海道教育委員会より譲与
4 月	江部乙中学校は江部乙町1118番地 1 に移転（旧北海道滝川北高等学校校舎） 江部乙共同調理場開設
6 月	市立中学校にスクールカウンセラー配置
14年 1 月	市立小中高等学校インターネット・イントラネット開通
15年 1 月	環境都市宣言
6 月	滝の川市民プール水夢オープン 森のかがく活動センターオープン
12月	滝川西高等学校がスプリングフィールド工科高校と短期留学生相互派遣事業を開始（～平成17年12月）
17年 3 月	空知太スキー場閉鎖
4 月	航空科学館その他航空関連施設を市長部局に移管
18年 1 月	中央公民館花月分館閉館
3 月	空知教育研修センター組合を空知教育センター組合と改称
4 月	児童館を市長部局に移管
19年 3 月	みずほ幼稚園閉園
4 月	市立小学校にスクールカウンセラー配置
7 月	市立小中高等学校に機械警備導入
10月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州ロングメドール高校と短期留学生相互派遣事業を開始
11月	滝川市立小・中学校適正配置基本方針策定
20年 4 月	市立小学校 3 学年35人学級実施
7 月	市制施行50年記念式挙行
10月	アメリカ・マサチューセッツ州ロングメドール町教育委員会と「滝川市、ロングメドール町教育交流促進に関する覚書」調印
21年 4 月	滝川西高等学校にスクールカウンセラー配置 市立小学校 3、4 学年35人学級実施（学年数71人以上）
8 月	滝川西高等学校格技場棟の耐震改修工事完了
9 月	江部乙小学校、明苑中学校の耐震改修工事完了
22年 2 月	滝川市小・中学校施設整備方針策定
3 月	おおぞら幼稚園閉園
4 月	市立小・中学校に学びサポーター配置
7 月	滝川開村120年記念式典挙行
11月	滝川第一小学校、江部乙中学校の耐震改修工事完了 滝川市小・中学校適正配置計画策定
12月	滝川市立開西中学校改築基本方針報告書策定
23年 3 月	滝川市勤労青少年ホームを閉館 巡回文庫（プラタナス号）廃止
4 月	通級指導教室「のびのび」を滝川第二小学校に開設 滝川市青年体育センター分館本町体育館開館

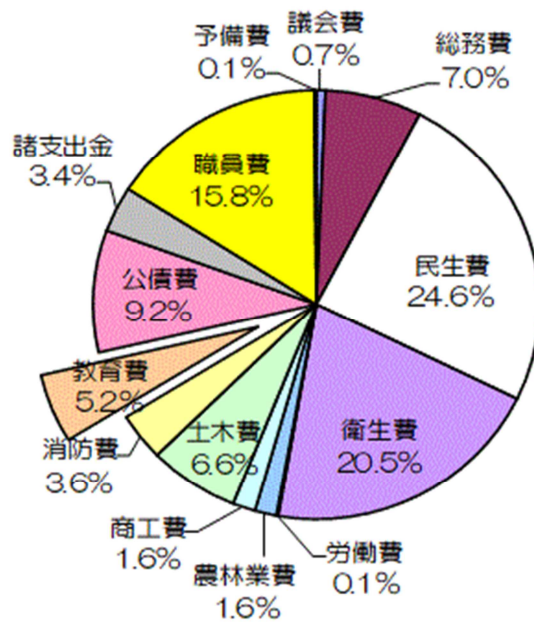
年 月	で き ご と
平成23年 8 月	滝川市立滝川第三小学校改築検討市民会議報告書策定
11 月	新図書館市役所 2 階に移転開館
12 月	滝川市学校給食施設整備方針策定 市立小学校でフッ化物洗口開始
24年 1 月	東小学校の耐震改修工事完了
2 月	「國學院大學北海道短期大学部図書館と滝川市立図書館の相互協力に関する協定書」調印
3 月	東栄小学校を東小学校に統合 滝川市教育推進計画（平成24年度～28年度）策定 滝川市学校給食施設整備計画策定 滝川市青年体育センター分館本町体育館を閉館
4 月	滝川市温水プールを閉館し、無償譲渡（9 月サンテオープン） 通級指導教室を明苑中学校に開設
8 月	滝川市教育支援センターオープン 空知教育センター、学校適応指導教室を滝川市教育支援センターに移転 外国語指導助手（A L T）を 5 名体制とし、中学校を本務校に配置替
25年 3 月	北海道人造石油株式会社滝川工場関係資料が公益社団法人日本化学会より化学遺産として認定
4 月	地区公民館をくらし支援課に移管 市立小学校 3、4 学年35人学級完全実施 図書館が優秀実践図書館文部科学大臣表彰受賞
5 月	文京台ソフトボール場（2 面）オープン（空知川ソフトボール場閉鎖）
7 月	森のかがく活動センターを閉館 江部乙市民プールを閉鎖
8 月	開西中学校校舎等改築大規模改修工事完了
11 月	開西中学校新校舎落成式举行
26年 3 月	滝川市子どもの読書活動推進計画（平成26年度～30年度）策定 滝川市総合福祉センターを閉館
4 月	通級指導教室を西小学校に開設 滝川市子どものいじめの防止等に関する条例施行
27年 3 月	滝川第三小学校校舎等改築工事完了
4 月	滝川市就学指導委員会議を滝川市教育支援委員会議に名称変更 滝川第三小学校共同調理場開設
7 月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州ロングメドール高等学校と姉妹校提携調印
8 月	滝川西高等学校に外国語指導助手（A L T）を 2 名配置
10 月	滝川第三小学校新校舎落成式举行
28年 3 月	江陵中学校武道場改築工事完了 江陵中学校耐震改修工事完了 西小学校共同調理場等増築工事完了 滝川市スポーツセンター第 2 体育館耐震等改修工事完了 東栄市民プールを閉鎖 滝川屯田兵文書（第二大隊第三中隊・第四中隊文書）が北海道有形文化財に指定 滝川市 B & G 海洋センター改修工事（栈橋及びトイレ改修工事）完了
4 月	平和都市宣言
6 月	滝川市 B & G 海洋センターリニューアルオープン式典・舟艇器材贈呈式举行
8 月	西小学校共同調理場開設
11 月	滝川西高等学校がスウェーデン・ヴィトフェルスカ高等学校と交換留学協定調印
29年 3 月	滝川市スポーツセンター第 1 体育館耐震等改修工事完了 西公園パークゴルフ場を廃止
4 月	滝川市スポーツセンター第 1 体育館リニューアルオープン式典举行
5 月	滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場仮オープン（3 コース27ホール）
6 月	滝川西高等学校がスウェーデン・ヴィトフェルスカ高等学校と短期留学生相互派遣事業を開始

年 月	で き ご と
7 月	滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場グラウンドオープン（8 コース72ホール）
8 月	第99回全国高等学校野球選手権大会に滝川西高等学校が出場
平成30年 4 月	滝川西高等学校の職業学科が会計ビジネス科 2 間口・情報ビジネス科 2 間口から 1 間口減（3 間口）となり、情報マネジメント科 3 間口に学科転換
8 月	外国語指導助手（ALT）を 1 名増員（小中学校 6 名体制）
11 月	学校における働き方改革 教職員業務改善推進プラン策定
12 月	滝川市美術自然史館、こども科学館冬季休館を実施開始（12 月～2 月） 滝川西高等学校トイレ改修工事完了
平成 31 年 1 月	市内中学校においてフッ化物洗口開始
3 月	第 2 次滝川市子どもの読書活動推進計画（2019 年～2023 年）策定
4 月	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を導入した

5 予算の概要

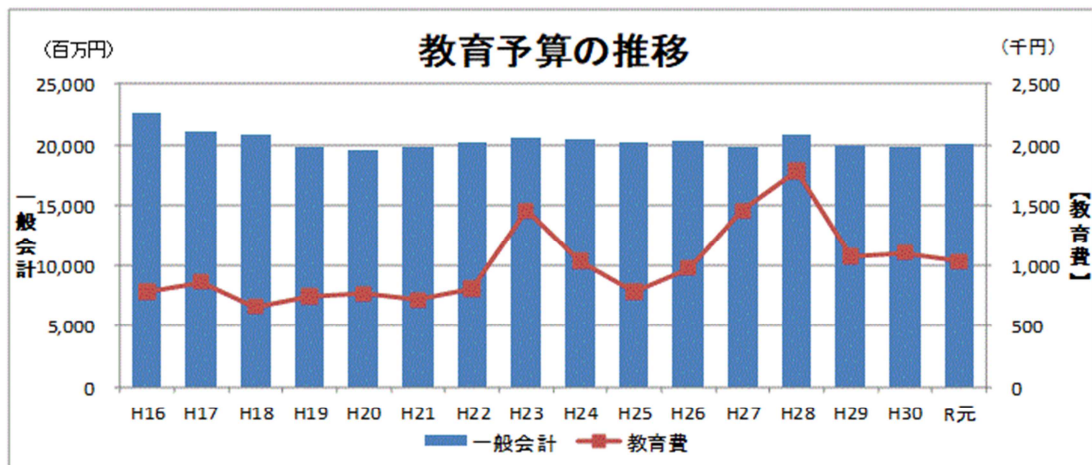
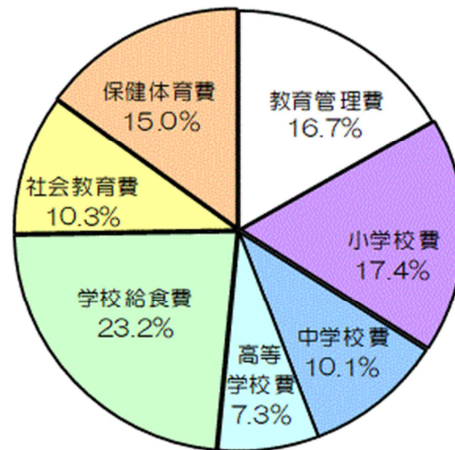
令和元年度一般会計予算の構成（人件費は職員費に含まれる）

区分	予算額（千円）	割合（％）
議会費	130,639	0.7%
総務費	1,400,813	7.0%
民生費	4,932,030	24.6%
衛生費	4,106,470	20.5%
労働費	26,306	0.1%
農林業費	312,705	1.6%
商工費	329,972	1.6%
土木費	1,313,964	6.6%
消防費	715,341	3.6%
教育費	1,033,295	5.2%
公債費	1,849,050	9.2%
諸支出金	690,000	3.4%
職員費	3,166,415	15.8%
予備費	30,000	0.1%
計	20,037,000	100.0%



令和元年度教育費の構成

区分	予算額（千円）	割合（％）
教育管理費	172,815	16.7%
小学校費	179,810	17.4%
中学校費	104,152	10.1%
高等学校費	75,427	7.3%
学校給食費	239,995	23.2%
社会教育費	106,695	10.3%
保健体育費	154,401	15.0%
計	1,033,295	100.00%



II 学校教育

1 幼児教育

学校法人 滝川学園 滝川幼稚園

所在地 〒073-0031 栄町2丁目7-13

TEL : 23-2478 FAX : 23-2445

園長 泉 敬之

開園年月日 昭和28年5月16日

法人格取得年月日 昭和30年3月16日

教育目標

- ・広々とした園庭でのびのびと遊び、自然との関わりを大切にする
- ・自由保育中心で、年齢にふさわしい個の育ちを大切に、自立する力を育て生きる尊さを知る
- ・真理（素直仲良く）を基とし、感性豊かな明るい子供を育てる

園児数・学級数

3歳児	4歳児	5歳児	合計
65 (2)	78 (3)	84 (3)	227 (8)

※ () は学級数

学校法人 滝川興禅学園 滝川白樺幼稚園

所在地 〒073-0017 一の坂町西1丁目1-5

TEL : 24-6720 FAX : 24-6752

園長 芳村 元悟

開園年月日 昭和44年3月6日

法人格取得年月日 昭和43年12月28日

教育目標

- ・他を思う心
- ・けじめを尊ぶ心
- ・美しいものを見る心
- ・自分を振りかえる心

園児数・学級数

3歳児	4歳児	5歳児	合計
0 (0)	27 (1)	41 (2)	68 (3)

※ () は学級数

2

義務教育

小 学 校

滝川市立滝川第一小学校〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕



開校年月日 明治26年11月19日
校地面積 10,179㎡ 建物延面積 7,096㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073-0017 一の坂町西2丁目1番70号

TEL: 23-2219 FAX: 23-3517

校 長	栗井 康裕 (H31. 4～)
教 頭	平澤 聡 (H30. 4～)
教職員数	27人
学級数 児童数	14学級 (うち特別支援5学級) 226人
教育目標	美しい自然と平和な社会を愛し、心豊かでたくましく、自ら学び、自ら考え、変化に主体的に対応できる個性あふれる子どもの育成をめざす。 ・進んで学習する子ども ～よく考える子ども～ ・思いやりのある子ども ～心やさしい子ども～ ・じょうぶな子ども ～身体を大切にする子ども～

特色ある教育活動

みんなで創る滝一の教育『いい顔・いい声・いい心』

- 確かな学力を育む分かる授業作り「特別支援教育・実態の分析と指導法の改善」
- 心に寄り添い、心に働きかける道徳・生徒指導「児童会活動」「全校あいさつ運動」「ボランティア」「縦割清掃」
- 豊かな教育資源を活用した学習「田植え」
- 地域やPTAとの連携「よみがたり」「一の坂市場」「滝一ゆきんこ祭り」「地区懇談会」

滝川市立滝川第二小学校



開校年月日 明治23年12月5日
校地面積 37,714㎡ 建物延面積 7,096㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073-0004 滝の川町東1丁目1番45号

TEL: 23-2786 FAX: 23-2027

校 長	芳賀 伸吾 (H30. 4～)
教 頭	松田 宏明 (H30. 4～)
教職員数	42人
学級数 児童数	16学級 (うち特別支援4学級) 359人
教育目標	・心身ともに健康で、心豊かな子 ～じょうぶな子～ ・思考力に富み、創造性豊かな子 ～考える子～ ・責任を重んじ、実践力のある子 ～やりぬく子～ ・人を大切にし、共に生きることのできる子 ～思いやりのある子～

特色ある教育活動

「自分らしさ」と「命」を大切にする子どもを育みます。

- 確かな学力を身に付けさせる学校全体で統一した取組
 - ・授業スタイルの5本柱を意識した授業改善の推進
- 新学習指導要領の完全実施に向けた取組
 - ・ICT機器を活用した教育活動の充実
 - ・外部指導者を活用したプログラミング教育の先行実施
- 豊かな情操を育む読書活動の推進
 - ・朝読書の推進、PTA図書委員会による読み聞かせ活動、市立図書館文庫の活用
- 豊かな心を育む教育の推進
 - ・児童会を中心としたボランティア活動など、体験活動を通した道徳性の育成

滝川市立滝川第三小学校 〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕

 開校年月日 大正7年4月19日 校地面積 18,578㎡ 建物延面積 7,321㎡ 鉄筋コンクリート3階建 〒073-0036 花月町2丁目2番12号 TEL: 24-6107 FAX: 24-6105 〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕平成27年4月1日開設	校 長	葛西 壽 (H30.4～)
	教 頭	澤口 純一 (H31.4～)
	教職員数	45人 (うち共同調理場10人)
	学級数 児童数	15学級 (うち特別支援3学級) 345人
	教育目標	すすんで実行し、力をあわせて、やりぬく子ども ・よく学ぶ子 (知) ・心の豊かな子 (徳) ・じょうぶな子 (体)
特色ある教育活動	○「三小スタイル」による全校統一的な学習指導 ○受け継がれる学び合い活動、「学びのボランティア」の取組 ○タブレットPC等のICT機器を活用した授業づくりの推進、食育の推進 ○朝読書・読み聞かせ等、言語環境の充実 ○学びサポーターやスクールカウンセラーを活用した子どもの心の居場所づくりの推進 ○全教職員の支援体制による特別支援教育の推進 ○言語の遅れや発達障害に対応した通級指導教室の指導充実	

滝川市立西小学校 〔学校給食西小学校共同調理場〕

 開校年月日 昭和31年4月1日 校地面積 34,692㎡ 建物延面積 6,688㎡ 鉄筋コンクリート2階建 〒073-0044 西町6丁目7番17号 TEL: 24-6275 FAX: 24-6276	校 長	長谷川 孝 (H31.4～)
	教 頭	穂山 拓希 (H31.4～)
	教職員数	39人 (うち共同調理場6人)
	学級数 児童数	15学級 (うち特別支援4学級) 263人
	教育目標	○自分の考えをもち、進んで学習する子 ○思いやりがあり、心の豊かな子 ○ねばり強く、たくましい子 ～子どもたちのめあてのことば～ 考える子・思いやる子・やりぬく子
特色ある教育活動	○「学びサポーター」等を活用した、複数教員によるきめ細かな指導の充実 ○栄養教諭と連携した食に関する指導の充実 ・米、菜ばな ○「校内支援委員会」や特別支援教育コーディネーター機能の充実を図った個に応じた指導の充実 ○私費による司書補の配置及び学校図書館を活用した活動の充実 ・読書通帳、読書郵便 ○地域と連携して取り組む児童の健全育成 ・西地区青少年育成会、西地区子ども見まもり隊、三校合同クリーン作戦	

滝川市立江部乙小学校〔学校給食江部乙共同調理場〕



開校年月日 昭和50年4月1日
校地面積 58,773㎡ 建物延面積 5,422㎡
鉄筋コンクリート2階建

〒079-0463 江部乙町東13丁目1426番地1

TEL: 75-2404 FAX: 75-2030

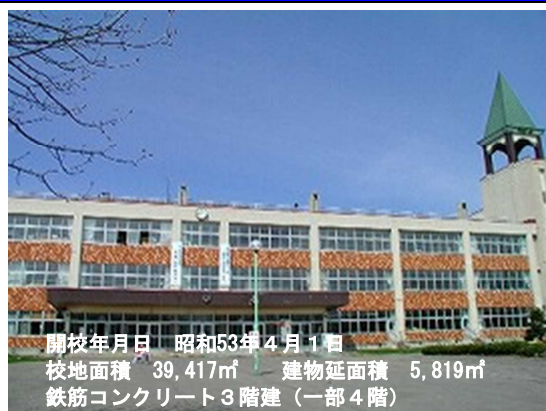
〔学校給食江部乙共同調理場〕平成13年4月1日開設

校 長	中島 淳 (H31.4～)
教 頭	高橋 一徳 (H31.4～)
教職員数	25人 (うち共同調理場4人)
学級数 児童数	9学級 (うち特別支援3学級) 71人
教育目標	〈主目標〉 「人間性豊かな実践力のある子ども」 〈具体目標〉 ・心豊かで たくましい子ども (健康・情操) ・進んで考え 表現する子ども (思考・表現・創造) ・力を合わせ やりぬく子ども (実践・連帯)

特色ある教育活動

- 地域との連携と開かれた学校づくり
 - ・地域の人材を活用した体験学習 (菜の花、そば、田んぼ、そらぶちキッズキャンプとの関わりなど)
 - ・小中合同地域清掃への参加 (5・6年生、児童会役員)
 - ・地域行事 (KAYAGINI祭り) に5・6年生の参加
- 集会、清掃活動における縦わり班活動
- 研究主題 ～豊かなつながりを通して、自らの学びを創る子どもの育成 (4カ年計画3年次) ～

滝川市立東小学校



開校年月日 昭和53年4月1日
校地面積 39,417㎡ 建物延面積 5,819㎡
鉄筋コンクリート3階建 (一部4階)

〒073-0014 文京町2丁目1番1号

TEL: 23-1591 FAX: 24-7819

校 長	高羅 正次 (H30.4～)
教 頭	堤 雅宏 (H30.4～)
教職員数	44人
学級数 児童数	20学級 (うち特別支援4学級) 489人
教育目標	〈総括目標〉 美しい心で生き生きと学ぶたくましい児童を育む ・進んで考え 学び合う子 (知育) ・友だちや自然を愛する ゆたかな子 (徳育) ・ねばり強くやりぬく たくましい子 (体育)

特色ある教育活動

- あいさつ学校の推進～学校・PTA・地域との連携
- ブラザー活動～よさを認め合い高めあう活動 (縦わり班活動)
- 合唱活動～全校で合唱をつくりあげる喜び、楽しさ
- 地域の風薫る学校～人材バンクの整備と活用
 - ・明苑中学校・國學院大學北海道短期大学部との連携
 - ・おはなしの会による読み聞かせボランティア
- 「北海道教育委員会学校力向上に関する総合実践事業」の指定
 - ・全校が一つのチームとして包括的な学校改善に取り組む
 - ・学校マネジメント・人材育成・教育課程と指導方法の工夫改善・地域や家庭との連携の4つの柱についての取組を推進する

中 学 校

滝 川 市 立 江 陵 中 学 校



開校年月日 昭和22年5月1日
校地面積 36,881㎡ 建物延面積 7,123㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073-0011 黄金町西1丁目7番18号
TEL: 24-6156 FAX: 24-6155

校 長	河村 克也 (H31.4～)
教 頭	丹那 暢仁 (H31.4～)
教職員数	41人
学級数 生徒数	13学級 (うち特別支援3学級) 316人
教育目標	教育目標 (知) 自ら考え、真理を究めよう (徳) 豊かな心で、明るく生きよう (体) 心身をきたえ、たくましく伸びよう 校訓 自主 躍動 調和

特色ある教育活動

- 少人数指導や習熟度別指導を通じた学力向上の取組 (数学)
- 道徳教育や体験活動を通じた心の教育の充実
- スクールカウンセラー・学びサポーターと連携した不登校生徒の支援やいじめ根絶を目指した教育相談体制の充実
- 生徒会を中心とした自主的な活動の充実
- 部活動を積極的に奨励する文武両道の推進

滝 川 市 立 明 苑 中 学 校 〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕



開校年月日 昭和22年5月1日
校地面積 21,688㎡ 建物延面積 7,123㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073-0033 新町4丁目9番1号
TEL: 23-2129 FAX: 26-1201

校 長	宮本 千裕 (H30.4～)
教 頭	悪七 広仁 (H29.4～)
教職員数	47人
学級数 生徒数	14学級 (うち特別支援3学級) 392人
教育目標	教育目標 「志を高く持ち、 健やかな体で、 互いに磨き合おう」 校訓 立志 練磨 継続

特色ある教育活動

- 少人数指導や習熟度別指導を通じた個に応じた指導 (国語・英語)
- 歌声活動で感動体験「歌声の明苑」
- 住みよい学校生活を目指した生徒会の自治活動「いじめ撲滅集会」
- 仲間とともに汗を流す「部活動の明苑」
- 心を開いて明るく元気よく「あいさつの明苑」
- 伝統の校舎に磨きをかける「清掃の明苑」
- 中1ギャップ問題未然防止への取り組み

滝 川 市 立 開 西 中 学 校

〔学校給食西小学校共同調理場〕

 開校年月日 昭和37年4月1日 校地面積 25,638㎡ 建物延面積 5,624㎡ 鉄筋コンクリート3階建 〒073-0044 西町3丁目7番12号 TEL: 23-3549 FAX: 22-4219	校 長	橋本 展晴 (H31.4～)
	教 頭	松本 浩幸 (H30.4～)
	教職員数	22人
	学級数 生徒数	8学級 (うち特別支援2学級) 146人
	教育目標	・豊かな情操を身につけ、文化の発展に寄与する。(感動) ・真実を求め、科学的に物事を考え創意を培う。(創意) ・正邪の判断を明確にし、強い意志を養う。(勇気) ・生命を尊び、強健な体位体力の推進を図る。(強健)
特色ある教育活動	○確かな学力への授業改善と職員の研修 ・対話的な学習の推進 ・ICT活用 ○長期休業中の学習会 (夏季6日間・冬季8日間) ・放課後学習 ・eラーニング ○漢字検定・英語検定の積極的受検と高い合格率 ○豊かな心を育む道徳の時間の推進 ・標語作成 ・啓蒙活動 ○外部機関・講師を積極的に活用した教育活動 ○ボランティア活動の実践「我らが主役A・V・G」(行動・ボランティア・あいさつ) ・いじめ撲滅集会 ・独居老人宅除雪 ・年賀状 ・挨拶運動 ○地域と連携した生徒の健全育成 ・開西中学校区学校運営協議会 ・三校合同クリーン作戦 ・西地区青少年育成会 ・西地区子ども見まもり隊	

滝 川 市 立 江 部 乙 中 学 校

〔学校給食江部乙共同調理場〕

 開校年月日 昭和46年4月1日 校地面積 42,978㎡ 建物延面積 5,377㎡ 鉄筋コンクリート3階建 〒079-0461 江部乙町1118番地1 TEL: 75-2260 FAX: 75-2622	校 長	川田 一之 (H30.4～)
	教 頭	小笠原 真樹 (H29.4～)
	教職員数	16人
	学級数 生徒数	3学級 44人
	教育目標	・自ら考え学ぶ生徒 (自主) ・豊かな心で感動する生徒 (連帯) ・強い意思でやりぬく生徒 (実践) ・健康でたくましく生きる生徒 (創造)
特色ある教育活動	○思考力・発信力を育む教育活動の展開 ※乙中スタイルの実践を通して ○故郷を誇りに思う教育活動の充実 ※地域学習や地域との連携等を通して ○国際交流の推進 ※国際交流事業を通して ○小中連携交流の推進 ※地域清掃や小中連携交流を通して	

中 学 生 の 進 路 状 況

(平成31年 3 月卒業生)

	全 日 制								定時制 (滝川高校等)	通信制 { ヶ-ヶ高校 有朋高校等	工業高専 盲・聾学校 養護高等 専修等各種	就職 その他	計
	滝川西高校		滝川高校		滝川工業高校		市外の 公立高校	市外の 私立高校					
	普通	情報マネジ メント	理数	普通	電子 機械	電気							
江陵中学校	17	25	1	26	16	2	28	2	1	0	0	1	119
明苑中学校	18	18	6	38	13	8	25	2	2	3	3	0	136
開西中学校	5	11	4	12	6	0	10	2	2	0	2	0	54
江部乙中学校	5	0	2	5	0	1	0	0	0	1	1	0	15
計	45	54	13	81	35	11	63	6	5	4	6	1	324

小・中学校の児童生徒数及び学級数

(令和元年 5 月 1 日現在)

	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	特別支援	合計
滝川第一小学校	37 (2)	40 (2)	31 (1)	42 (2)	32 (1)	36 (1)	8 (5)	226 (14)
滝川第二小学校	60 (2)	57 (2)	55 (2)	47 (2)	66 (2)	61 (2)	13 (4)	359 (16)
滝川第三小学校	50 (2)	56 (2)	51 (2)	58 (2)	58 (2)	62 (2)	10 (3)	345 (15)
西小学校	36 (2)	30 (1)	54 (2)	48 (2)	43 (2)	45 (2)	7 (4)	263 (15)
江部乙小学校	5 (1)	11 (1)	10 (1)	13 (1)	13 (1)	14 (1)	5 (3)	71 (9)
東小学校	69 (3)	100 (3)	80 (3)	78 (3)	63 (2)	82 (3)	17 (4)	489 (20)
小学校合計	257 (11)	294 (11)	281 (11)	286 (12)	275 (10)	300 (11)	60 (23)	1,753 (89)

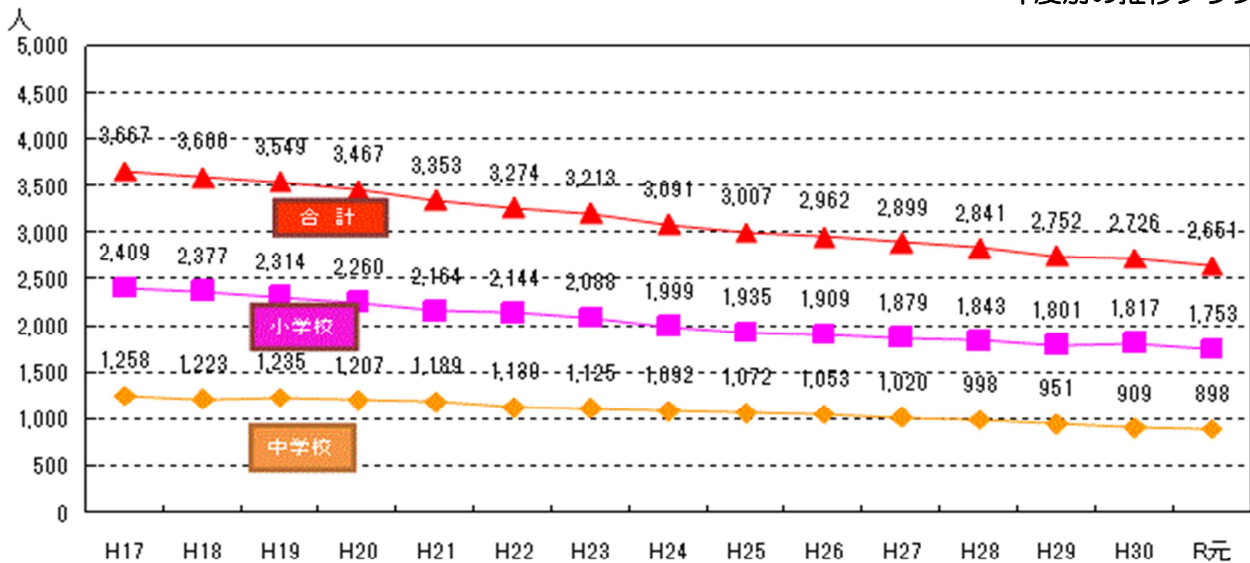
※ () 内は学級数

	1 年 生	2 年 生	3 年 生	特別支援	合計
江陵中学校	113 (4)	86 (3)	106 (3)	11 (3)	316 (13)
明苑中学校	136 (4)	120 (3)	123 (4)	13 (3)	392 (14)
開西中学校	52 (2)	45 (2)	47 (2)	2 (2)	146 (8)
江部乙中学校	10 (1)	19 (1)	15 (1)	0 (0)	44 (3)
中学校合計	311 (11)	270 (9)	291 (10)	26 (8)	898 (38)

※ () 内は学級数

児童生徒数の推移

年度別の推移グラフ



通級指導教室事業

＜開設目的＞

通常の学級に在籍している軽度の障がいのある子どもに対して、各教科等の指導の大部分はそれぞれの学級で行いつつ、個々の障がいの状況に応じた特別の指導を行うことを目的として設置している。

＜設置場所及び開設年月日＞

滝川第三小学校 平成5年4月
 滝川第二小学校 平成23年4月
 明苑中学校 平成24年4月
 西小学校 平成26年4月

＜通学区域＞

滝川第三小学校 ～ 滝川第一小学校、滝川第三小学校、東小学校
 滝川第二小学校 ～ 滝川第二小学校、江部乙小学校
 西小学校 ～ 西小学校
 明苑中学校 ～ 江陵中学校、明苑中学校、開西中学校、江部乙中学校

＜所管課＞

教育総務課

適応指導教室事業

＜教室名称＞

ふれあいルーム

＜開設目的＞

不登校児童生徒の学校復帰を図るための指導・支援と相談業務等

＜開設年月日＞

平成7年7月1日

＜指導体制＞

支援専門員 4名（うちスクールソーシャルワーカー兼務1名）

＜開設場所＞

教育支援センター 1階 TEL:74-4800

＜相談・指導内容＞

- 児童生徒に対する相談・指導支援
 - (1) 児童生徒の実態に応じた個別指導及び教育相談
 - (2) 児童生徒の実態に応じた集団活動支援
- 保護者に対する教育相談
 - (1) 個別の相談活動を通して児童生徒の対応について相談及び支援等

＜所管課＞

教育総務課

特別な支援を要する児童生徒の就学状況

○特別支援教育諸学校（令和元年5月1日現在）

	障がい 区 分	学年別内訳（小学生）						学年別内訳（中学生）			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
美唄養護学校	知 的		1	1		2		2	1		7
旭川盲学校	視 覚				1						1
旭川聾学校	聴 覚			1							1

○市立小中学校（令和元年5月1日現在）

	障がい 区 分	学年別内訳						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
滝川第一小学校	言 語	1						8
	知 的			1		1		
	病 弱		1					
	自閉・情緒	1		1		1		
	肢体不自由				1			
滝川第二小学校	知 的		2	4	1			13
	病 弱						1	
	自閉・情緒			2	2			
	肢体不自由	1						
滝川第三小学校	言 語					1		10
	知 的	1	2		3	1		
	自閉・情緒	1		1				
西 小 学 校	言 語						1	7
	知 的	1				2		
	自閉・情緒		1			1		
	弱 視					1		
江部乙小学校	言 語				1			5
	知 的				1		1	
	自閉・情緒		1		1			
東 小 学 校	言 語		1			1		17
	知 的	2	2	2	1			
	自閉・情緒	1	1	2			1	
	肢体不自由		1		1		1	
小 学 校 計		9	12	13	12	9	5	60
江 陵 中 学 校	知 的	2		3				11
	自閉・情緒	3		1				
	肢体不自由			2				
明 苑 中 学 校	知 的	2	2	3				13
	弱 視			1				
	自閉・情緒	1	2	2				
開 西 中 学 校	知 的		1					2
	自閉・情緒	1						
江部乙中学校	知 的							0
	自閉・情緒							
中 学 校 計		9	5	12				26
小中学校合計								86

学 校 給 食

滝川市では全ての小学校・中学校において完全給食を実施しています。

【1食当たりの単価】

小学校 257円、中学校 310円

【給食の実施状況】

学校名	方式	調理場名
滝川第一小学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
滝川第二小学校	自校	
滝川第三小学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
西小学校	共同調理場	西小学校共同調理場
江部乙小学校	共同調理場	江部乙共同調理場
東小学校	自校	
江陵中学校	自校	
明苑中学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
開西中学校	共同調理場	西小学校共同調理場
江部乙中学校	共同調理場	江部乙共同調理場

※共同調理場方式とは、何校かの給食をまとめて作り、各学校に配送する方式です。

自校方式とは、その学校の調理場で調理する方式です。



高等学校教育



北海道滝川西高等学校

所在地 〒073-0044 西町6丁目3-1

TEL: 24-7341 FAX: 24-7342

校長 菅原 史彦

教頭 渡邊 宏重

教職員数 68人

開校年月日 昭和48年4月1日

めざす生徒像

礼儀と規律を重んじ、文武両道に励み、志の達成に努める生徒

生徒数・学級数

	普通科	会計 ビジネス科	情報 ビジネス科	情報 マネジメント科	合計
1年	118 (3)			120 (3)	238 (6)
2年	120 (3)			116 (3)	236 (6)
3年	117 (3)	63 (2)	72 (2)		252 (7)
合計	355 (9)	63 (2)	72 (2)	236 (6)	726 (19)

※ () 内は学級数



北海道滝川高等学校

所在地 〒073-0023 緑町4丁目5-77

TEL: 23-1114 FAX: 23-1115

校長 鎌田 到

副校長 西村 友恵

教頭 仲俣 文貴・笹原 明男

教職員数 67人

開校年月日 昭和4年5月10日

教育目標

高い志をもち、自己を創造し、真理を追求する心と
未来を拓く力を育む

- (1) 自学自律 高い見識
- (2) 自尊側隠 豊かな人間性
- (3) 健体康心 健やかな心と体

生徒数・学級数

	普通科	理数科	合計
1年	199 (5)	33 (1)	232 (6)
2年	199 (5)	38 (1)	237 (6)
3年	180 (5)	34 (1)	214 (6)
合計	578 (15)	105 (3)	683 (18)

※ () 内は学級数

	1年	2年	3年	4年	合計
定時制	4	8	9	1	22



北海道滝川工業高等学校

所在地 〒073-0006 二の坂町西1丁目1-5

TEL: 22-1601 FAX: 22-1604

校長 小山 彰博

教頭 佐藤 靖尚

教職員数 34人

開校年月日 大正9年4月27日

教育目標

1. 健やかな身体と強い意志を育てる
2. 確かな学力と豊かな心を育てる
3. 創造的な技術能力と勤労の態度を育てる

	電子機械科	電気科	合計
1年	40 (1)	19 (1)	59 (2)
2年	39 (1)	16 (1)	55 (2)
3年	39 (1)	15 (1)	54 (2)
合計	118 (3)	50 (3)	168 (6)

※ () 内は学級数

○高等学校卒業後の進路状況 (平成31年3月卒業生)

	大学進学	短大進学	専修学校	各種学校	就職者	その他	合計
滝川西高校	66	24	103	0	65	7	265
滝川高校(全日制)	169	7	34	0	2	24	236
滝川高校(定時制)	0	0	1	0	6	1	8
滝川工業高校	0	0	13	0	48	0	61



専修学校・大学教育



滝川市立高等看護学院

所在地 〒073-0033 新町2丁目8番10号

TEL : 24-7027 FAX : 74-7088

学 院 長 平木 雅久

教職員数 12人

開校年月日 昭和44年4月1日

教育理念

看護の専門職としてその役割を十分果たすことができるよう、一般教養科目をはじめ専門基礎科目・専門科目の修得を通じて自己の生き方を追求し、豊かな人間性を養い、良き社会人として又、看護師として社会に貢献する素地を養うことを目的とする。

学生数

	1年	2年	3年	合計
看護学科	25	24	21	70

卒業後の進路状況（平成30年3月卒業生）

	看護分野に就職	その他	合計
看護学科	25	1	26



國學院大學北海道短期大学部

所在地 〒073-0014 文京町3丁目1番1号

TEL : 23-4111 FAX : 23-5590

学 長 平野 泰樹

教職員数 39人

開校年月日 昭和57年4月1日

教育理念

國學院大學の建学の精神である「凡（およ）ソ学問ノ道ハ本（もと）ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫（な）シ」を教育の中心に据え、高等教育機関としての短期大学を“ファーストステージ”として位置付け、教育・専門・実務のバランスのとれたカリキュラムによる教育を実践し、本学卒業後の四年制大学への編入学や就職等（セカンドステージ）の多様化する進路選択に対応した学生支援体制をとるとともに、地域に根ざした大学づくりをすすめている。

学生数

	国文学科	総合教養 学 科	幼児・児童 教育学科	合計
1年	85	85	47	217
2年	94	94	57	245
合計	179	179	104	462

卒業後の進路状況（平成31年3月卒業生）

	国文学科	総合教養 学 科	幼児・児童 教育学科	合計
大学学部	57	87	28	172
専門学校	0	0	0	0
就 業 者	15	6	21	42
上記以外	4	3	7	14
合計	76	96	56	228

III 社会教育

1

社会教育

家庭教育の支援

基本的生活習慣の定着

- 【目的】新1年生の基本的生活習慣の定着を目的とする。
【内容】各小学校で実施する1日入学時における「我が家のマナー」の周知。

安心・安全な電子メディア利用の推進

- 【目的】スマートフォン等電子メディアとの正しい付き合い方を、児童・生徒・保護者が考え身に着けることを目的とする。
【内容】○情報モラルに関する道徳教材の活用促進。
○情報モラルに関する保護者向け啓発リーフレットの発行。
○携帯電話販売店を巡回しての児童・生徒が所有するスマートフォン等のフィルタリングの徹底。
○滝川市PTA連合会との連携による啓発活動の実施。
○小・中学生の携帯電話等の利用に関する意識調査の実施。

青少年の健全育成

健全育成事業の実施

- 【目的】各種体験活動に参加する機会を提供することで、心豊かでたくましい子どもたちの育成を目的とする。
【内容】○市内4中学校生徒による「少年の主張」の開催。
○北海道独自の下の句かるたを使った「滝川市かるた大会」の開催。
○一般社団法人滝川青年会議所主催の沖縄県名護市との児童交歓事業の支援。
○たきかわ元気応援団による「ジュニア学検定」「元気に遊ぼう」の支援。

青少年の非行・被害の防止

- 【目的】青少年が犯罪を起こさない、犯罪にあわない健全な環境づくりを目的とする。
【内容】○警察との連携によるカラオケボックス等立ち入り調査。
○「校外生活のきまり」の作成および周知徹底。

青年団体活動の支援

- 【目的】自主的な活動を通じて地域を支える次世代のリーダーの育成を目的とする。
【内容】青年交流プラザ振興会による青年団体活動の支援。

成人式の実施

- 【目的】新成人が大人としての自覚を持ち、自ら自立心や向上心を高めていくことを期待し、新成人を激励することを目的とする。
【内容】式典及びアトラクションの企画・運営。

地域の教育力の活用

青少年の健全育成活動の推進

【目的】地域の教育力を生かした青少年健全育成を目的とする。

【内容】○地区青少年育成会（7地区）の地域力を活かした特徴ある事業の支援。

※通学合宿（西地区）、わんぱく合宿（東滝川・東地区）、集団下校訓練と見守り活動（中地区）

○育成活動交流会「はぐくミックス」の開催。

○北海道教育委員会と連携し、地域の子どもたちの育成に係る課題の検討会や地域活動の指導者等への研修会などの開催。

生涯学習活動の推進

グループ・サークル活動の振興

【目的】公共施設等を利用しているサークル等に発表の機会を提供し、学びを通じた生きがいのある心豊かな生活を送ることを目的とする。

【内容】○各グループ・サークル活動の成果発表をする「いきいきまつり～生涯学習フェスティバル～」の支援。

生涯学習活動情報の提供

【目的】さまざまな学びに関する情報を提供し、「いつでも」「だれでも」学べる環境づくりを目的とする。

【内容】○グループ・サークル一覧表の情報収集及び発行。

○ホームページなどを活用した情報提供。

生涯学習活動の充実

【目的】さまざまな世代に対する自主的な学びの場の充実を目的とする。

【内容】○一般財団法人滝川生涯学習振興会との連携の強化。

社会教育施設の概要

● 音楽公民館

【所在地】〒073-0033 新町3丁目8番3号 TEL：24-7479

【敷地面積】1,267.00㎡ 【延床面積】1,024.50㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造2階建

【施設概要】講堂、会議室、研修室、和室、視聴覚室ほか

【開館年月日】昭和56年12月20日 【管理】中央ビルメンテナンス(株)空知事業部

● 教育支援センター

【所在地】〒073-0014 文京町4丁目1番1号 TEL：74-4800

【敷地面積】6,756.22㎡ 【延床面積】1,789.75㎡ 【構造】鉄骨・鉄筋コンクリート造2階建

【施設概要】会議室、和室、体育館、ふれあいルーム、相談室ほか

※空知教育センターを含む複合施設

【開館年月日】平成24年8月21日

2

芸術文化

市民による文化 芸術活動の支援

市民による文化芸術活動の支援

- 【目的】市民が主体となり、日ごろの文化芸術活動の支援や発表の支援を行うなど、地域の文化芸術活動の推進を目的とする。
- 【内容】○風がみつけた街「たきかわ音楽祭」の支援。
○「滝川市民文化祭」の支援。
○たきかわこどもミュージックフェスタの支援。
○文化芸術活動に係る補助金の紹介・相談。

優れた芸術鑑賞 機会の提供

芸術鑑賞機会の提供

- 【目的】市民が主体となり開催する芸術鑑賞事業を支援するなど、優れた芸術鑑賞の機会を提供することを目的とする。
- 【内容】○市民ロビーを活用した「ロビーコンサート」の開催。
○中空知5市5町を巡回して実施する「なかそらちふるさと文化の集い」の協力。

アウトリーチ事業の推進

- 【目的】音楽や演劇などの芸術家を学校等に派遣し、質の高い文化芸術の鑑賞・体験を通して児童の豊かな心や感性を育むことを目的とする。
- 【内容】○トラベリングバンドひのき屋の公演／滝川第一小学校、西小学校

陶芸センターの振興

各種陶芸講座の実施

- 【目的】陶芸体験を通じ、生きがいのある心豊かな生活を送ることを目的とする。
- 【内容】○レベル別講座の開講。
○長期休暇の子どもたちや一般を対象とした1日体験講座の開講。

陶芸活動の普及

- 【目的】市民が主体となり陶芸センターの活動や、陶芸の楽しさを広く周知することを目的とする。
- 【内容】陶工房たきかわ主催による「陶芸センターまつり」の開催。

文化施設の概要

● たきかわ文化センター

【所在地】〒073-0033 新町3丁目6番44号 TEL: 23-1281 FAX: 23-1283
【敷地面積】21,297.83㎡ 【延床面積】4,479.85㎡ 【構造】鉄骨・鉄筋コンクリート造3階建
【施設概要】大ホール 1,101席 小ホール 約270名収容 【開館年月日】昭和48年7月1日
【管理】特定非営利活動法人 空知文化工房

● 陶芸センター

【所在地】〒073-0033 新町3丁目8番13号 TEL: 22-3503
【敷地面積】573.18㎡ 【延床面積】191.22㎡
【窯】15kw 窯 1基 20kw 窯 1基 自動焼成装置 1台 【開館年月日】昭和53年6月1日

● たきかわホール

【所在地】〒073-0031 栄町3丁目9番2号 スマイルビル3階 TEL・FAX: 23-6005
【延床面積】838.19㎡ 【施設概要】多目的ホール、ギャラリー、リハーサル室
【開館年月日】平成14年12月4日 【管理】H29.4.1～休止

3

スポーツ

体育指導及び振興

スポーツ体験機会の提供

- 【目的】誰もが気軽にスポーツに参加し、継続的にスポーツに取り組む環境づくりを目的とする。
- 【内容】○えべおつ丘陵地マラニックの支援。
○たきかわコスモスマラソンの支援。
○滝川スポーツフェスティバルの支援。

子どもの体力向上の推進

- 【目的】子どもを対象とした各種運動プログラムを支援し、子どもの体力と運動能力の向上の推進を目的とする。
- 【内容】○「元気アップ教室」など、子どもの発育発達期に応じた運動プログラムの支援。
○「小学生スキー教室」など、冬期間の運動プログラムの支援。

体育施設の整備

体育施設の整備

- 【目的】誰もが安心安全で快適にスポーツに取り組むことができる施設整備を目的とする。
- 【内容】○スポーツセンター第2体育館防火扉改修工事の実施。

パークゴルフ場の運営

- 【目的】市民の健康増進や世代間交流、地域コミュニティの醸成を目的として運営する。
- 【内容】○魅力あるまち自慢のパークゴルフ場としての企画立案。
○民間企業及び愛好団体からなるサポーターズクラブとの連携。

東京オリンピック・パラリンピック連携事業

アダプテッドスポーツの推進

- 【目的】障害のあるなしに関係なく、誰もが一緒に楽しむことができる環境の整備充実を目的とする。
- 【内容】○児童を対象としたアダプテッドスポーツ授業の実施。

パラリンピック合宿の誘致

- 【目的】パラカヌーを対象に合宿誘致に向けた調査や情報収集を行い、合宿地としての優位性を広く周知することを目的とする。
- 【内容】○関係機関との連携による情報収集。

スポーツ施設の概要

● 滝川市スポーツセンター第1体育館

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 TEL: 23-4617 FAX: 23-4351
【面積・規模等】1階 2,918㎡ (うち競技場1,736.64㎡) 2階 613㎡
【構造】鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根一部2階建
【開設年月日】昭和54年3月10日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 滝川市スポーツセンター第2体育館

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 TEL: 23-3842 FAX: 23-4351
【面積・規模等】1階 1,908.33㎡ (うち競技場875㎡) 2階 1,005.48㎡
【構造】鉄筋コンクリート造2階建 【開設年月日】昭和46年4月1日
【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● すばーく滝川(多目的施設)

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内
【面積・規模等】面積: 1,183.47㎡ (クラブハウス含む) コート: 2面 (20×15m)
【開設年月日】平成4年4月1日 【所有】一般財団法人 滝川市体育協会

● B&G海洋センター

【所在地】〒073-0041 西滝川10番地 TEL・FAX: 23-4194
【敷地面積】1,717.00㎡ 【延床面積】382.489㎡
【備器材】12フィートヨット、OPヨット、アクセスディンギー、サボットヨット、レーシングカヌー、カヌー、ペアカヌー、カナディアンカヌー、360セールボード、ローボート、シーカヤック、ライフジャケット、救助艇、インフレーターブルカヌー、パラカヌー
【開館年月日】平成6年7月6日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 陸上競技場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内
【面積・規模等】面積: 25,148㎡・1周400m 単心円、8コース 収容人員: 8,000人
【開設年月日】昭和49年9月15日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 滝川市営球場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内 TEL:24-8600(※試合当日のみ)
【面積・規模等】中堅線 122m・両翼 98m 収容人員:5,000人 照明:6基
スコアボード:磁気反転式
【開設年月日】昭和47年6月10日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 北電公園球場(2面)

【所在地】〒073-0042 泉町135番地6
【敷地面積】12,964㎡ 【開設年月日】昭和50年 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 滝の川球場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内
【面積・規模等】中堅線 111.5m・両翼96m
【開設年月日】昭和63年7月30日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 石狩川野球場

【所在地】〒073-0035 中島町無番地
【面積・規模等】中堅線 118m・両翼96m
【開設年月日】平成3年10月に移設
【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 空知川サッカー場

【所在地】〒073-0106 砂川市空知太
【敷地面積】20,250㎡ 【施設概要】2面 【開設年月日】平成元年
【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 文京台ソフトボール場

【所在地】〒073-0014 文京町4丁目1番1号
【敷地面積】10,600㎡ 【施設概要】2面 【開設年月日】平成25年5月26日
【管理】滝川市ソフトボール協会

● テニスコート（軟式）

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内

【面積・規模等】面積：4,886㎡・8面 収容人員：800人 照明：2面 表層：クレイ仕上げ

【開設年月日】昭和47年4月28日 昭和48年10月30日4面 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● テニスコート（硬式）

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内

【面積・規模等】面積：3,055㎡・4面 照明：2面 表層：グリーンサンド

【開設年月日】平成元年10月7日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 空知川パークゴルフ場

【所在地】〒073-0106 砂川市空知太556番地

【面積・規模等】コース：18ホール・延長 1,015.66m

【開設年月日】平成9年

【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● ターゲット・バードゴルフ場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内

【面積・規模等】面積：3,982㎡ コース：18ホール・延長724m

【開設年月日】平成6年6月18日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● 弓道場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内 TEL：23-1753

【面積・規模等】面積：900㎡ 的場照明：8灯 6人立ち

【開設年月日】昭和51年9月10日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会

● アーチェリー場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内

【面積・規模等】練習場：5射用（射距離30m・50m）

【開設年月日】平成元年7月30日 【管理】一般財団法人 滝川市体育協会



● 滝川スケート場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川運動公園内 大駐車場

TEL：24-8600（オープン期間のみ）

【面積・規模等】1周170m

【開設期間】12月下旬～2月中旬（12月29日～1月5日は休み）

【管理】一般財団法人 滝川市体育協会



● 滝の川市民プール「水夢」

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番209号

【総面積】1,155.10㎡ 【構造】鉄骨造

【施設概要】流水プール（全長60m 水深1.10m） 児童プール（15m×8m 水深0.75m）

幼児プール（7.6m×7.6m 水深0.35m）

管理室、談話室、トレーニング室、更衣室、シャワー室

【開設年月日】平成15年

【管理】一般財団法人 滝川市体育協会



● 石狩川河川敷パークゴルフ場

【所在地】西滝川地先 TEL：080-9000-4808

【施設概要】8コース 72ホール

【開設年月日】平成29年7月1日

4

図書館

地域の情報・生涯学習拠点事業

通常展示

- 【目的】役に立つ、楽しめる展示を毎月複数実施して、地域の情報拠点としての情報発信と、読書への興味・関心を喚起し、読書普及につなげる。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】通年
- 【場所】図書館
- 【内容】「お札の人。～紙幣の人物について知ってますか？～」、「平成～駆け抜けた時代～①平成事件史」、
「滝川市立図書館の1年間を振り返って」など

読書週間

- 【目的】読書週間事業として、絵本作家による講演会やワークショップ、朗読会、大型展示などを実施し、本との出会いのきっかけづくりや読書の楽しさを伝え、読書の普及に資する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】10月～11月
- 【場所】図書館・市役所
- 【内容】絵本作家講演会・ワークショップ、朗読の森～PREMIUM～、関連展示ほか

朗読会「朗読の森」

- 【目的】朗読会を実施することで、物語を聴く楽しみや語り手となって読む楽しみを共有し、新しい本の世界との出会いを提供する。
- 【対象】大人
- 【期間】年3回
- 【場所】図書館・市役所

高齢者施設出張おはなし会

- 【目的】高齢者サービスの一環として、図書館利用が困難な高齢者施設入居者に対して、出張おはなし会を実施することにより、読書普及を推進する。
- 【対象】高齢者施設入居者
- 【場所】市内高齢者施設
- 【内容】施設へ図書館スタッフが出張し、読み聞かせや歌、体操などを実施する。

図書館ボランティア

- 【目的】図書館利用の促進と生涯学習活動の場として図書館事業に参加し、自らの知識・技能の向上とその経験を生かした活動の拠点として、人が輝き親しみのある図書館づくりを目指す。
- 【対象】18歳以上の市民
- 【場所】図書館ほか
- 【内容】書架整理、本の修理・整備、読書普及事業（おはなし会・ブックスタート・朗読会等）への参加など

図書館訪問受入れ

- 【目的】学校や施設等の図書館訪問を受け入れ、滝川市立図書館の案内・紹介を行うほか、要望に応じて利用案内や読み聞かせ、自由読書などのプログラムを実施して、図書館や本への理解を深めるとともに、親しんでもらう。
- 【対象】子どもから大人
- 【場所】図書館
- 【内容】学校、施設、外部からの図書館訪問の受入れ

連携事業

行政連携

■ 行政情報の収集と発信、連携事業

【目的】 市役所庁舎内の特色を活かし、様々な情報を市民に提供するため、行政情報コーナーの設置や事業周知の連携展示等により情報発信を行うほか、健診講座などでの図書設置、行事の協同開催や出張おはなし会などの実施により、事業推進の一助とする。また、仕事に役立つ資料や郷土資料についても収集し、各課の業務推進に資する。

【対象】 子どもから大人

【期間】 通年

【場所】 図書館

【内容】 行政情報の提供、連携展示、連携行事、行政資料・郷土資料収集など

■ 「まるごとたきかわ☆わくわくスタンプラリー」

【目的】 各施設の利用促進とともに、市民に滝川の魅力を再発見してもらうことを目的とする。

【対象】 小学生以下の子どもとその保護者

【期間】 5月11日～3月31日

【場所】 滝川市こども科学館（滝川市美術自然史館）、滝川市航空動態博物館（たきかわスカイミュージアム）
滝川地区地域防災施設（川の科学館）、滝川市B&G海洋センター、滝川市立図書館

【内容】 対象施設でのイベント参加や施設利用により参加できるスタンプラリー、スタンプ10個達成者にはプレゼントを贈呈

病院連携

【目的】 健康情報コーナーを館内に常設して市民に役立つ図書館づくりを進めるとともに、市立病院作業療法室の患者さん製作の時節のしおりなどを利用者へ配布して、読書普及の推進に資する。

【対象】 子どもから大人

【期間】 通年

【場所】 図書館・市立病院

【内容】 健康情報収集・発信、しおりやイベント時のミニプレゼントの配布

まちなか連携

【目的】 まちなかの図書館の特色を活かし、まちなか情報コーナーを設置して市民にまちなかの様々な情報を提供するほか、まちなか連携展示を実施して、まちなかへの利用者回遊に資する。

【対象】 大人

【期間】 通年

【場所】 図書館

【内容】 まちなか個店や団体・サークルを紹介する展示「まちなかコンシェルジュ【お店編】・【団体・サークル編】」展示、市内団体・サークル等の情報掲示など

地域連携

■ 雑誌スポンサー制度「雑誌ささえ隊」

【目的】 新鮮な情報が得られる雑誌の充実を図るため、企業、団体、個人より寄贈を募る「雑誌ささえ隊」に取り組むことで市民・企業・団体と連携し、魅力ある図書館づくりを推進する。

【対象】 企業、団体、個人

【内容】 1年間の雑誌の寄贈募集、読み終えた雑誌の継続的な寄贈募集、企業、団体等の紹介など

■ まごころ本箱「はこぶっく」

【目的】 病院、保育施設、児童館、団体などが、気軽に利用できる団体貸出を実施し、身近な場所での読書活動を支援することで、新たな読書コミュニティづくりを推進する。

【対象】 団体、グループなど

【期間】 通年

【内容】 3世帯以上で構成されている団体、サークル、施設等で登録し、50冊まで1ヶ月の貸出を行う。

■ 地域文庫

【目的】 地域住民が自ら図書を管理する地域文庫を設置し、地域住民同士が本を通して交流する新たな読書コミュニティづくりを推進する。

【対象】 子どもから大人

【期間】 通年

【場所】 施設等

【内容】 図書館の寄贈本や複本で所蔵している図書等を活用し、地域の特色ある本棚づくりを支援し、地域の読書環境を整える。

■連携イベント

【目的】地域と連携し、おはなし会やイベント等を実施することにより、読書普及を推進する。

【対象】子どもから大人

【期間】通年

【内容】地域で開催されるイベント等へ職員が出張し、おはなし会等を実施するほか、地域の施設等と連携して、きもだめしや古本もってけ祭などのイベントを実施する。

学校との連携による子どもの読書活動支援

【目的】子どもたちが多くの時間を過ごす場である学校において、読書の楽しさ、素晴らしさを伝え、読書の習慣化が図られるよう、図書貸出や図書室に対する支援を学校と協働して行い、子どもの読書活動を推進する。

【対象】児童・生徒

【期間】通年

【場所】小・中学校・図書館

【内容】図書館学級文庫、学校図書館運営支援、調べ学習支援、読書支援、読書アルバム、おすすめの本のチラシの配布、連絡会議

國學院大學北海道短期大学部連携

【目的】國學院大學北海道短期大学部図書館と連携し、蔵書の有効活用を図るとともに、協働での事業に取り組み、相互の図書館の利用促進に資する。

【対象】短大生、大人

【期間】通年

【場所】國學院大學北海道短期大学部、図書館

【内容】蔵書の相互貸借、短大情報コーナーの常設、連携展示、イベントでの協力、学生の研修受け入れなど

いづもの読書普及事業

子どもの読書活動推進計画

【目的】30年度に策定した第2次滝川市子どもの読書活動推進計画に基づき、すべての子どもが豊かな読書体験を通してすこやかに成長していくために、滝川市全体で子どもの読書活動を推進する。

【対象】0歳前から高校生・保護者・子どもと接する身近な大人

【期間】令和元年度～5年度

【実施主体】家庭・地域・子どもと大人が集まる施設・幼稚園・保育所・託児所・学校・図書館

ブックスタート

【目的】読み聞かせを通じて親子がふれあう機会を持つことができるよう、子どもの成長にあわせて絵本をプレゼントし、読書習慣定着のきっかけづくりとする。

【対象】乳幼児とその保護者

【期間】通年

【場所】保健センター

【内容】4・5か月児相談、1歳6か月児健診の受診者へ、絵本とおすすめ本や子育て情報のチラシなどを、手渡しでプレゼントする。4・5か月児には、図書館オリジナルトートバッグもあわせてプレゼントする。

出張おはなし会

【目的】幼稚園・保育所、学童クラブ、育成会事業などへの出張おはなし会を実施することにより、親子の絵本の触れ合いの場を提供する。

【対象】子どもとその保護者

【期間】通年

【場所】幼稚園・保育所・児童館など子どもが集まる施設及び障がい者施設

【内容】各施設での行事等に合わせて、図書館スタッフが出張おはなし会を実施する。

絵本の森のおはなし会

- 【目的】 絵本の読み聞かせなどを通して、親子で絵本の世界を楽しむ時間を共有することの大切さを伝える。
【対象】 子どもから大人
【期間】 奇数月の土曜日に月1回
【場所】 図書館
【内容】 定例会：絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター・ペープサート等の出し物、手遊びなど

絵本のおはなし会「あかちゃんといっしょ」

- 【目的】 絵本を介した親子のふれあいの時間を提供することで、乳幼児からの読み聞かせの重要性を伝える。
【対象】 乳児とその保護者
【期間】 奇数月の第3週水曜日
【場所】 図書館
【内容】 絵本の読み聞かせ、手遊びなど

子どもの読書週間

- 【目的】 展示や催し物などを通じて、読書の楽しさを子どもたちへ伝えとともに、大人へは読書の重要性の周知・啓発を行い、読書習慣の形成と定着に資する。
【対象】 子どもから大人
【期間】 4月19日～5月22日
【場所】 図書館
【内容】 展示：「おかしなおはなしいただきまーす!」、参加型展示「おかしのいえをつくろう!」

絵本作家講演会&ワークショップ

■絵本作家講演会&ワークショップ

- 【目的】 絵本作家による講演会やワークショップを通じて、子どもたちの豊かな心の育成と読書普及につなげる。
【対象】 子ども
【期間】 絵本作家講演会：11月10日、ワークショップ：日程未定
【場所】 市役所
【内容】 絵本作家講演会・ワークショップ

図書館を使った調べる学習コンクール

■図書館を使った調べる学習コンクール

- 【目的】 調べる学習の実践により、子どもたちの主体的な学習意欲を喚起し、情報活用能力や読解力、思考力、言語力を身につけ、生涯を通じた学び力と生きる力を育成することに資する。
【対象】 児童
【期間】 月1日募集開始 10月審査・発表（最優秀作品は全国コンクールに推薦）
【場所】 図書館ほか
【内容】 テーマは自由で、小学生低・中・高学年に部門を分け、各部門の中から最優秀賞、ふんちゃん賞、優秀賞、佳作を選出する。部門共通として、滝川をテーマにした作品の中から郷土賞を選出する。
- たきかわDE調べる学習体験講座
【目的】 コンクールへの参加拡大と調べる学習に関係した施設の活用向上を目的として、「川・空」の2コースで体験講座を実施する。
【対象】 子ども
【期間】 川コース：7月30日・空コース：8月2日
【場所】 川コース：川の科学館・B&G海洋センター・空コース：スカイミュージアム
【内容】 川やグライダーについて学び、まとめる。

絵本作家講演会

【目的】 絵本作家からのメッセージを直接語りかけてもらうことにより、絵本の魅力を広く伝える。
 【対象】 中空知地域の子どもから大人
 【期間】 10月6日
 【場所】 滝川市
 【内容】 絵本作家 武田 美穂 講演会

おはなしカーニバル

【目的】 中空知地域の図書館相互の交流を図り、國學院大學北海道短期大学部との協働により、子どもが絵本文化に触れ、楽しく遊ぶ場を提供する。
 【対象】 中空知地域の子どもから大人
 【期間】 11月16日
 【場所】 國學院大學北海道短期大学部
 【内容】 読み聞かせ、出し物、展示コーナーなど

朗読ボランティア育成研修会

【目的】 地域の新規ボランティアの人材発掘をするとともに、現在活動中のボランティアのスキルアップを目的とする。
 【対象】 中空知地域の高校生から大人
 【期間】 6月9日・23日・7月4日
 【場所】 砂川市
 【内容】 心にひびく朗読を～スキルアップ講習会～ 講師：田嶋 扶二子氏

紙芝居の読み聞かせ講座

【目的】 地域の読み聞かせボランティアの人材発掘とともに、現在活動中のボランティアのスキルアップを目的とする。
 【対象】 中空知地域在住の読み聞かせに興味を持っている方
 【期間】 9月8日
 【場所】 市役所
 【内容】 「チャレンジ！紙芝居 ～読み聞かせのコツ、教えます！～」 講師：松村 澄絵氏

図書館の概要

● 図書館

【所在地】 〒073-8686 大町1丁目2番15号（滝川市役所2階） TEL：22-4646 FAX：23-1284
 【施設概要】 閲覧スペース1,026㎡・地下書庫30㎡・閲覧席140席・学習室18席
 【移転年月日】 平成23年11月12日

日本画家・岩橋英遠 没後20年 「道産子の魂 アトリエの英遠」

【目的】日本画家・岩橋英遠の自宅アトリエに残された作品・資料等がこのたびNPO 法人岩橋ふるさと北辰振興会から滝川市に寄贈された。今回の特別展では寄贈を受けた日本初公開となる貴重な作品・資料等を展示するほか、アトリエの様子も会場に再現。今まで知られていなかった創作過程も紹介しながら、岩橋英遠の“道産子の魂”に迫る。

【対象】全市民 【期間】6月15日（土）～8月25日（日） 【場所】美術自然史館

【内容】(1)展示 合計120点

- ①日本画・遺品類（筆、岩絵の具ほか）スケッチ帳、習作、素描など
- ②机等遺品類を用いて岩橋英遠のアトリエを再現

(2)関連事業

- ①北門信用金庫ギャラリー「ふれあい」他でPR展を開催
- ②〈たきかわっ子追憶之巻〉を描こう 6月15日
- ③講演会 「英遠のアトリエから」 6月22日
- ④学芸員による見どころ解説 ギャラリートーク 7月6日
- ⑤日本画ワークショップ 「日本画を描いてみよう」 7月13日
- ⑥道産子追憶之巻フットパス 7月20日
- ⑦ウエルカムアートの展示
 - ・明苑中美術部による巨大画（縦1.8m×横4.6m）
 - ・岩橋英遠をテーマに作画し、企画展示室入口に展示
- ⑧9月から北海道立旭川美術館で開催される「没後20年 岩橋英遠展」においては、同館からの要望に応え、美術自然史館が収蔵する作品をはじめ、スケッチ等の資料や遺品を出品するなど、英遠芸術の振興をより一層推進するため、連携を図る。

「北辰ふるさとさくら並木」造成事業

【目的】滝川市出身の日本画家、岩橋英遠氏がその再生を願ったふるさととの「桜並木トンネル」の再現と岩橋画伯の芸術を次世代の子ども達に伝え、ふるさとを自然を守り、美しい景観づくりに貢献することを目的とする。

【対象】全市民 【場所】江部乙中学校学習園、江部乙公園桜園場ほか

【内容】○「北辰の森」植樹祭の実施 5月8日
○桜サポーター募集及び活動の支援

教育普及活動事業

1. デッサン会

【目的】滝川美術協会会員の指導により、絵画の基礎であるデッサンを学ぶ。

【対象】全市民

【内容・期間】①裸婦デッサン会 4月14日、9月8日、11月10日
②人物デッサン会 6月16日、8月4日、3月8日

2. 化石教室

【目的】化石やそれらの産出する地層・自然・環境に関心を持ってもらうとともに、タキワカイギウをはじめ化石という地域の財産に理解を深めてもらう。

【対象】全市民

【内容】①化石採集 6月29日
②化石調査 7月21日、8月10日
③化石レプリカ作り 1月11日

ちいさなはくぶつかん出前講座

【内容】アウトリーチ活動として、学校や児童館にスタッフが出向いて、資料を活用した講座を行う。

【対象】小学生

こども科学館事業

月イチリカ室

【内容】毎月第4土曜日は「月イチリカ室」の日と定め、実験や工作など身近な科学に親しんでもらう。
【対象】小学生 【期間】毎月第4土曜日 【場所】こども科学館

わくわくサイエンス

【内容】楽しいサイエンスショーや科学工作の体験を夏・春休みの時期に開催する。
【期間】わくわくサイエンス 8月4日、3月14日
夏フェス 8月10、11日
サイエンステーブル 通年

ちいさなはくぶつかん出前講座

【内容】アウトリーチ活動として、学校や児童館にスタッフが出向いて、資料を活用した講座を行う。
【対象】小学生

土曜リカひろば

【内容】遠方等の理由からこども科学館に一人でくることが出来ない子どもたちのために、こども科学館が市内各小学校に年2回ずつ出向くことで子どもたちの科学に触れる機会を増やす。
【対象】小学生 【期間】原則第2土曜日

冬休み こどもウィーク

【内容】期間中、こども科学館を無料開放
【対象】全市民 【期間】冬休み（1月）

春休みこども広場

【内容】期間中、こども科学館を無料開放し子どもたちが遊びながら科学に親しみ、保護者同士においても交流の場になることを目的とする。
【対象】全市民 【期間】春休み

郷土館事業

郷土館事業

【内容】地域の歴史や出来事、人々の暮らしを実物の資料や解説パネルを通じて学ぶことができる。
【対象】全市民 【期間】5月1日～9月29日の土日・祝日、8月15日 【場所】郷土館

教育普及活動事業

1. 博物館めぐり
【対象】全市民 【期間】9月12日
2. 滝川歴史散歩
【対象】全市民 【期間】10月2日

文化財保護・活用事業

文化財の調査・整備事業

【目的】滝川の歴史を残す貴重な建造物等を後世まで確実に保存することを目的とする。
【内容】華月館、屯田兵屋など指定文化財を整備する。

文化財の活用

【目的】指定文化財を活用した事業を開催し、文化財保護の普及と啓発を推進することを目的とする。
【内容】指定文化財を活用した講演会等、普及事業を実施する。

博物館の概要

● 美術自然史館

【所在地】〒073-0033 新町2丁目5番30号 TEL: 23-0502 FAX: 23-8786

【敷地面積】10,534.97㎡ 【延床面積】2,889.37㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造2階一部地下

【施設概要】展示室 5室、研究室、収蔵庫 【開館年月日】昭和61年9月13日

● こども科学館

【所在地】〒073-0033 新町2丁目6番1号 TEL: 22-6690 FAX: 23-8786

【延床面積】1,778.30㎡ 【構造】鉄骨・鉄筋コンクリート造

【施設概要】展示室 4室、滝川を科学する室（研修室） 【開館年月日】平成3年3月16日

● 郷土館

【所在地】〒073-0033 新町3丁目8番20号 TEL: 23-0502 FAX: 23-8786

【敷地面積】2,400.00㎡ 【延床面積】854.21㎡ 【構造】鉄骨造2階建

【施設概要】展示室 3室、第二展示場、収蔵庫 【開館年月日】昭和52年6月1日

IV その他

1

空知教育センター組合

所在地等	〒073-0014 文京町4丁目1-1 TEL：22-1371 FAX：22-1372
代表者	組合長 前田 康吉
構成市町村	空知管内 10市14町
設置目的	空知総合振興局所管区域内の市町が共同して教職員の研修及び研修に係る調査研究の実施並びに教育の理論と実践に係る研究を行うため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づく教育機関として設置。
開設年月日	昭和43年4月26日
組織及び機構図	※：滝川市職員併任 ◇：学校教職員と兼職
事業内容	○研修事業 ①研修講座の開催（指導実技、ICT活用等） ②教育界で実績の高い人材を招聘する特別講座の開催 ③講師受諾者の道内研修派遣・出前講座派遣 ④専門的知識や技能を持つ人材を学校等に派遣する「出前講座」の拡充 ○研究事業 ①研究主題 「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方 ②課題研究協力員と所員で構成する課題研究委員会を設置して研究協議及び公開授業の実施 ③研究概要とその方向性をまとめた資料の発行 ○情報発信事業 ホームページを活用し、研修・研究事業などで実践した指導案の公開及び管内小中学校や教育研究団体の活動を紹介
事業推進の基本方針	未来に輝き、活躍する子どもたちに「生きる力」を育ませるため、教職員がその達成に必要な資質、能力を身に付け、さらにその向上を図るための研修活動、研究活動及び情報発信活動に重点を置いて、事業の推進に努める。



一般財団法人 滝川生涯学習振興会

所在地等	〒073-0033 新町2丁目6-1 (滝川市中央児童センター2F) TEL: 23-0294 FAX: 23-0292		
設立経過	昭和60年4月民間団体として発足し、同年9月北海道教育委員会から財団法人として認可された。 公益法人制度改革関連法の施行により平成26年4月一般財団法人として北海道から認可された。		
事業	○生涯学習に関する講演会、シンポジウム、講座の開催 ○生涯学習に関する情報の収集、提供 ○生涯学習の指導者の登録、紹介等 ○生涯学習に関する調査研究 ○生涯学習を推進する行政機関や他の団体との連携、これらの行う事業に対する協力援助 ○リブラーンいきいきカレッジの開催		
組織体制 代表者	理事長 細田 光人 副理事長 2人 事務理事 1人 理事 4人	監事 2人 評議員 12人 顧問 7人 事務局員 2人	
推進目標	1. 生涯学習の理解を深め、民間活力を生かした生涯学習社会の実現に努める。 2. 激動する社会の変化に対応する各種事業の推進に努める。 3. 「滝川市健康都市宣言」の趣旨実現に努める。 4. 会員開発と加入促進に努める。		
事業内容	○学習機会の提供に関する事業 1. 講演会 (1) リブラーン講演会 6、9月 2. 講座の開催 (1) 教養講座 ①日本の歴史講座 6～7月 ②文学を学ぶ講座 5～6月 ③滝川探訪講座 8～10月 ④知って楽しむ世界遺産講座 9～10月 ⑤俳句に挑戦！講座 10～11月 ⑥「源氏物語」入門講座 10～12月 ⑦再発見！日本語/教育漢字の成り立ちを解く講座 11～12月 (2) 健康・運動講座 ①気軽にエアロビクス講座 10～11月 ②水中ウォーク&アクアビクス講座 5～7月 ③自宅でできる簡単な運動講座 5～9月 ④自分でできるリンパマッサージ講座 6～3月 ⑤笑って元気！ラフターヨガ講座 6～10月 ⑥中国武術太極拳講座 8～10月 ⑦ゆる体操講座 10～11月 ⑧楽しいズンバ講座 夏期5～10月・冬期1～2月 ⑨ヨガ入門講座 夏期7～9月・冬期1～3月 ⑩運動不足を解消しよう！相撲健康体操講座 6月 ⑪リズムウォーキング講座 5～10月 ⑫認知症予防運動講座 10～3月 (3) 趣味・実用講座 ①はじめてのトールペイント講座 5月 ②かわいの手編み講座 5～8月 ③みんなで踊ろう！フォークダンス講座 5～6月 ④おとなの囲碁基礎講座 5～7月 ⑤初めていける季節の生け花講座 6～12月 ⑥和食のテーブルマナー講座 3月 ⑦毎日飲みたい！水筒でつくる甘酒講座 3月 ⑧陶芸入門講座 9～10月 ⑨いちから始めるボールペン字講座 5～6月 ⑩初歩からゆっくり書道講座 9～11月 ⑪おとなの手習い筆ペン講座 6～8月 ⑫童謡と叙情歌を楽しく歌う講座 7～2月 ⑬チーズ・レッスン講座 7～11月 ⑭基礎からはじめる手話講座 7～10月 ⑮気軽に楽しむスケッチ講座 5～6月 ⑯簡単に描けるいよしのパステルアート講座 7～9月 ⑰ソープカービング講座 5月 ⑱我が家でかんたん！万能調味料作り講座 6月 ⑲楽しめる切り貼り絵講座 9～10月 ⑳囲碁入門講座 5～7月 ②洋食のテーブルマナー講座 7月 ②お菓子の家のミニランプづくり 11月 ②簡単！うちごはん講座 12月 ②生きた味噌作り講座 1月 ②脳トレ～おもしろ将棋入門講座 1～2月 ②家でできるお菓子講座 1～3月 ②粘土でつくる飾り雑講座 2月 ②クラフトバンド講座 5月 ②初めてのスタンドグラス講座 5～7月 ②ゼロからはじめる楽しいオカリナ講座 6～10月 ②初めての詩吟講座 8～9月 ②卓上機械で小物づくり講座 9～10月 ②元力士と作ろう！ちゃんこ鍋講座 10月 ②楽しく上達！カラオケ講座 1～3月 (4) 語学講座 ①ABCから始める英会話講座 5～6月 ②旅行英会話講座 1～3月 ③おもてなし中国語講座 12～3月 3. リブラーンいきいきカレッジの実施 5～3月 4. 資格認定に関する試験 (1) 漢字検定試験 6月・2月 5. その他 (1) 中高校生を対象にしたボランティア教室 7月 (2) アートステージ空知との共催事業 (3) 空知文化工房との共催事業 (4) 講座作品展示 3月 ○情報の提供に関する事業 1. 情報紙「リブラーンたきかわ」発行 年4回 2. PR情報紙発行 年1回 3. 広報たきかわ及び報道機関の紙面を活用した事業案内、広報活動 ○指導者の登録に関する事業 1. ジャンル別講師データの追録・修正 ○調査・研究に関する事業 1. 各関係機関の発行する生涯学習関連資料を収集し、事業推進の資料とする。 2. 道内外の先進地を調査し、学習の資料とする。 ○連絡推進に関する事業 1. 行政との連携を図り、事業推進の適正化と効率化を図る。 2. 多様化する学習ニーズに対応するため。道民カレッジ講座との連携を図る。 3. 各種団体との連携を深め、地域に根ざした生涯学習の推進を図る。 4. 芸術・文化・スポーツ団体等との連携を図る。 5. 有効、有益な講演事業等を推進するため、関係機関と連携し開催する。 6. グループ、サークル、団体等との連携を深め後援・協賛・共催を行う。		



一般財団法人 滝川市体育協会

所在地等	〒073－0005 二の坂町東3丁目2－1 TEL：23－4617 FAX：23－4351													
設立経過	大正9年に滝川体育会として発足し、昭和52年北海道教育委員会から財団法人として認可された。平成25年4月1日、一般財団法人に移行。													
目 的	滝川市におけるスポーツ団体を総括し、スポーツの振興普及のために必要な事業を行うとともに、その設置するスポーツ施設を適切に運営し、もって心身の健全な発達と本道におけるスポーツの普及振興に寄与することを目的とする。													
組織体制 代表者	会 長 佐藤 佳朗 理 事 5名 副会長 4名 監 事 3名 事務局（局長1名・次長補佐1名・スタッフ29名） 加盟団体 34団体													
推進目標	1. 市民に対するスポーツの振興に関する方策を講ずるとともにアマチュア精神の普及を図り、市民の体力向上及びスポーツに関する情報提供を行うこと。 2. 公益財団法人北海道体育協会と協調を図るとともに各加盟団体の強化発展と相互の融和に努め、滝川市及び北海道の施策に協力すること。 3. スポーツに関する講習会や各種教室を開催するとともに、他のスポーツ団体等の行うスポーツ事業に協力すること。 4. 全道・全国的規模のスポーツ大会に競技者及び役員を派遣すること。 5. スポーツ少年団の育成に関すること。 6. スポーツに関し功労のあった者を表彰すること。 7. スポーツ施設の維持、管理及び運営を行うこと。 8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業。													
事業内容	<table><tr><td>1. 市民スポーツの振興に関する方策を講ずる開催事業及びスポーツ大会を開催するとともに、他のスポーツ団体等の行うスポーツ事業に協力する。 (1) スポーツフェスティバルの開催 (2) マリンスポーツフェスティバル 7月15日 (3) クリーンフェスティバル 7月上旬～8月中旬 (4) たきかわコスモスマラソン2019 9月8日 (5) ホームページ・フェイスブック掲載事業</td><td>5. スポーツ少年団育成事業 11月9日 6. スポーツ功労者等の表彰事業 (1) 一般 9月27日 (2) 学校関係 3月7日 7. スポーツ施設の運営管理事業 (1) すばーく滝川 通年 (2) スポーツセンター第1体育館 通年 (3) スポーツセンター第2体育館 通年 (4) 滝の川市民プール「水夢」 6月15日～8月31日 (5) B＆G海洋センター 5月11日～10月10日 (6) 滝の川運動公園 4月29日～10月31日 (7) 北電公園球場 4月29日～10月31日 (8) 池の前水上公園（B＆G海洋センターを除く）のうちカヌー等の利用に係る部分 4月29日～10月31日 (9) 石狩川球場 4月29日～10月31日 (10) サッカー場 4月29日～10月31日 (11) 北電スロープ 12月21日～2月11日 (12) 江部乙パークゴルフ場 4月29日～10月31日 (13) 施設を利用した協賛企業の広告掲載 通年</td></tr><tr><td>2. 加盟団体の強化発展と相互の連絡融和を図り、加盟団体の助成を図る事業 (1) スポーツ交流会 9月27日 (2) 加盟団体助成事業 11月上旬</td><td colspan="2">8. その他法人の目的を達成するために必要な事業 (1) 滝川スケートリンク造成・管理運営事業 12月23日～2月11日</td></tr><tr><td>3. スポーツに関する講習会・教室の開催及び指導者養成事業 (1) 元気アップ教室 4月～3月 (2) 白樺幼稚園運動教室 4月～2月 (3) 出前講座 4月～3月 (4) ストレッチボール教室 4月～3月 (5) 夏休み水泳教室 7月29日～8月2日 (6) 親子カヌー教室 7月28日 (7) カヌー教室 8月6日～7日 (8) カヌー等の水上スポーツを楽しもう 9月13日 (9) はじめてのスキー教室 1月8日～10日 (10) 小学生スケート教室 1月15日～17日 (11) スノーレク2020 1月25日</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>4. 全国・全道的スポーツ大会への参加奨励事業 (1) 全国大会に参加する団体・個人に対する奨励 通年 (2) 北海道B＆Gスポーツ交流交歓会「水上の部」選手派遣事業 8月4日 (3) 第61回NAGOハーフマラソン選手派遣事業 1月中旬</td><td colspan="2"></td></tr></table>			1. 市民スポーツの振興に関する方策を講ずる開催事業及びスポーツ大会を開催するとともに、他のスポーツ団体等の行うスポーツ事業に協力する。 (1) スポーツフェスティバルの開催 (2) マリンスポーツフェスティバル 7月15日 (3) クリーンフェスティバル 7月上旬～8月中旬 (4) たきかわコスモスマラソン2019 9月8日 (5) ホームページ・フェイスブック掲載事業	5. スポーツ少年団育成事業 11月9日 6. スポーツ功労者等の表彰事業 (1) 一般 9月27日 (2) 学校関係 3月7日 7. スポーツ施設の運営管理事業 (1) すばーく滝川 通年 (2) スポーツセンター第1体育館 通年 (3) スポーツセンター第2体育館 通年 (4) 滝の川市民プール「水夢」 6月15日～8月31日 (5) B＆G海洋センター 5月11日～10月10日 (6) 滝の川運動公園 4月29日～10月31日 (7) 北電公園球場 4月29日～10月31日 (8) 池の前水上公園（B＆G海洋センターを除く）のうちカヌー等の利用に係る部分 4月29日～10月31日 (9) 石狩川球場 4月29日～10月31日 (10) サッカー場 4月29日～10月31日 (11) 北電スロープ 12月21日～2月11日 (12) 江部乙パークゴルフ場 4月29日～10月31日 (13) 施設を利用した協賛企業の広告掲載 通年	2. 加盟団体の強化発展と相互の連絡融和を図り、加盟団体の助成を図る事業 (1) スポーツ交流会 9月27日 (2) 加盟団体助成事業 11月上旬	8. その他法人の目的を達成するために必要な事業 (1) 滝川スケートリンク造成・管理運営事業 12月23日～2月11日		3. スポーツに関する講習会・教室の開催及び指導者養成事業 (1) 元気アップ教室 4月～3月 (2) 白樺幼稚園運動教室 4月～2月 (3) 出前講座 4月～3月 (4) ストレッチボール教室 4月～3月 (5) 夏休み水泳教室 7月29日～8月2日 (6) 親子カヌー教室 7月28日 (7) カヌー教室 8月6日～7日 (8) カヌー等の水上スポーツを楽しもう 9月13日 (9) はじめてのスキー教室 1月8日～10日 (10) 小学生スケート教室 1月15日～17日 (11) スノーレク2020 1月25日			4. 全国・全道的スポーツ大会への参加奨励事業 (1) 全国大会に参加する団体・個人に対する奨励 通年 (2) 北海道B＆Gスポーツ交流交歓会「水上の部」選手派遣事業 8月4日 (3) 第61回NAGOハーフマラソン選手派遣事業 1月中旬		
1. 市民スポーツの振興に関する方策を講ずる開催事業及びスポーツ大会を開催するとともに、他のスポーツ団体等の行うスポーツ事業に協力する。 (1) スポーツフェスティバルの開催 (2) マリンスポーツフェスティバル 7月15日 (3) クリーンフェスティバル 7月上旬～8月中旬 (4) たきかわコスモスマラソン2019 9月8日 (5) ホームページ・フェイスブック掲載事業	5. スポーツ少年団育成事業 11月9日 6. スポーツ功労者等の表彰事業 (1) 一般 9月27日 (2) 学校関係 3月7日 7. スポーツ施設の運営管理事業 (1) すばーく滝川 通年 (2) スポーツセンター第1体育館 通年 (3) スポーツセンター第2体育館 通年 (4) 滝の川市民プール「水夢」 6月15日～8月31日 (5) B＆G海洋センター 5月11日～10月10日 (6) 滝の川運動公園 4月29日～10月31日 (7) 北電公園球場 4月29日～10月31日 (8) 池の前水上公園（B＆G海洋センターを除く）のうちカヌー等の利用に係る部分 4月29日～10月31日 (9) 石狩川球場 4月29日～10月31日 (10) サッカー場 4月29日～10月31日 (11) 北電スロープ 12月21日～2月11日 (12) 江部乙パークゴルフ場 4月29日～10月31日 (13) 施設を利用した協賛企業の広告掲載 通年													
2. 加盟団体の強化発展と相互の連絡融和を図り、加盟団体の助成を図る事業 (1) スポーツ交流会 9月27日 (2) 加盟団体助成事業 11月上旬	8. その他法人の目的を達成するために必要な事業 (1) 滝川スケートリンク造成・管理運営事業 12月23日～2月11日													
3. スポーツに関する講習会・教室の開催及び指導者養成事業 (1) 元気アップ教室 4月～3月 (2) 白樺幼稚園運動教室 4月～2月 (3) 出前講座 4月～3月 (4) ストレッチボール教室 4月～3月 (5) 夏休み水泳教室 7月29日～8月2日 (6) 親子カヌー教室 7月28日 (7) カヌー教室 8月6日～7日 (8) カヌー等の水上スポーツを楽しもう 9月13日 (9) はじめてのスキー教室 1月8日～10日 (10) 小学生スケート教室 1月15日～17日 (11) スノーレク2020 1月25日														
4. 全国・全道的スポーツ大会への参加奨励事業 (1) 全国大会に参加する団体・個人に対する奨励 通年 (2) 北海道B＆Gスポーツ交流交歓会「水上の部」選手派遣事業 8月4日 (3) 第61回NAGOハーフマラソン選手派遣事業 1月中旬														



滝川市文化連盟

所在地等	〒073-0022 大町2丁目5-23（振興公社管理ビル1F） TEL：23-5225 FAX：23-5228
設立経過	滝川市文化連盟は、平成3年7月8日に設立総会を開催し、それまで滝川市文化協会（昭和22年5月5日設立）と江部乙文化団体協議会（昭和28年6月4日設立）による滝川市文化団体連絡協議会を発展的に解散、滝川市文化連盟として新たに結成された。
目的	会員相互の資質の向上を図るとともに、市民の芸術文化の振興に役立つ事業を行い、ひいては郷土の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。
組織体制 代表者	会 長 男澤伸一 事務局（局長1名） 副会長兼務 副 会 長 4名 顧 問 5名 理 事 長 1名（副会長兼務） 相 談 役 3名 理 事 18名 参 与 3名 監 事 2名 加盟団体 65団体 631名
推進目標	1. 加盟団体相互の連携と芸術文化事業の推進 2. 加盟団体が開催する事業への支援 3. 各種発表会、展覧会等主催事業の企画・実施 4. 芸術文化団体との文化交流事業の推進 5. 会員等の研修事業の実施 6. 各種芸術文化に関する調査 7. その他芸術文化事業に付帯する事業
事業内容	1. 主催・共催事業 (1) 第49回滝川市民文化祭 ○滝川会場 ・書道・絵画・写真・美術刀剣・一般公募・・・10月26日～10月27日 美術自然史館 ・華道・文芸・手工芸・・・10月26日～10月27日 文化センター ・茶道（呈茶）・・・10月27日 文化センター ・芸能発表・・・10月27日 文化センター (2) 第28回滝川市文化連盟ビールパーティー・・・7月5日 (3) 第56回古典の会 令和2年3月22日 文化センター 2. 交流事業 (1) 空知文化団体連絡協議会総会 4月27日 岩見沢市 (2) 第43回道民芸術祭兼第51回空知管内郷土芸術祭 舞台（芸能）部門 9月1日 新十津川町 展示（文芸）部門 9月1日 新十津川町 (3) 全空知文化交流会 11月9日 岩見沢市 3. 顕彰事業 (1) 滝川市文化賞表彰式及び祝賀会 11月3日 4. 刊行事業 (1) 滝川市文化連盟会報誌「滝文連」の発行 年3回 5. 支援・後援事業 (1) 加盟団体の各種発表会、展示会、記念事業・出版事業への支援後援 (2) 上記以外で、地域における芸術文化の振興に寄与すると認めた事業への協賛

V 資料編

1 各種審議会等

滝川市いじめ防止専門委員会

【目的】 いじめの防止等のための対策の実効的な推進を図るため、以下の職務を行う。

- (1) 教育委員会の諮問に応じ、いじめの防止等のための対策の実効的な推進に関する重要事項を調査審議する。
- (2) いじめの防止等のための対策の実効的な推進の在り方に関し、教育委員会に意見を述べる。

会長	富家 直明	定数	4人以内
設置年月日	平成26年4月1日	任期	平成30年6月1日～令和2年5月31日
関係法令等	滝川市子どものいじめの防止等に関する条例 滝川市いじめ防止専門委員会規則	所管課	教育総務課
氏名	氏名	氏名	氏名
富家 直明	中村 泰江	高野 清志	豊田 収

滝川市いじめ問題対策連絡協議会

【目的】 滝川市子どものいじめの防止等に関する条例の規定に基づき、いじめの防止等に関係する機関など団体の連携を協議するとともに、啓発を効果的に進めるため協議する。

会長	山崎 猛	定数	8人以内
設置年月日	平成26年4月1日	任期	平成30年6月1日～令和2年5月31日
関係法令等	滝川市子どものいじめの防止等に関する条例 滝川市いじめ問題対策連絡協議会規則	所管課	教育総務課
氏名	氏名	氏名	氏名
清松 祐紀	早川 信之	舩井 雄一	今野 栄司
齊藤 秀希	山下 幸二	高羅 正次	米澤 敬子

滝川市教育支援委員会議

【目的】 心身に障がいのある児童生徒及び就学予定者の特別支援学校又は小学校若しくは中学校の特別支援学級等への就学に関し、必要な専門的意見を取りまとめ、その結果を教育委員会に報告する。

会長	宮本 千裕			副会長	佐野 博之		定数	20人以内
設置年月日	昭和53年11月24日			任期	平成30年 5 月 1 日～令和 2 年 4 月30日			
区分	1 号－医師 2 号－学識経験者 3 号－教育機関の職員 4 号－児童福祉施設の職員 5 号－関係行政機関の職員							
関係法令等	滝川市教育支援委員会議規則			所管課	教育総務課			
氏名	区分	氏名	区分	氏名	区分	氏名	区分	
佐野 博之	2 号	黒澤 洋一	1 号	宮本 千裕	2 号	村井 新知	4 号	
運上 明子	5 号	青野 美穂	3 号	川村 安浩	3 号	金子 薫	3 号	
會田 佳奈子	3 号	今 雅彦	3 号	川崎 史園	3 号	長谷川 昌子	3 号	
宮澤 靖彦	3 号	菅原 かよ子	3 号	熊谷 さおり	3 号	松浦 克行	3 号	
石田 由作	3 号	中野 淳子	3 号	宮本 真貴子	3 号	大佐賀 祥	3 号	

滝川市社会教育委員会議

【目的】 教育基本法に規定する社会教育の振興を図るために設置。社会教育に関し教育委員会に助言するため、以下の職務を行う。

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること
- (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること
- (3) 前2号の職務を行うために必要な調査研究を行うこと
- (4) 教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べること
- (5) 教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えること
- (6) 社会教育関係団体に対する補助金交付について意見を述べること

委員長	山木 傑		副委員長	前野 和子		定数	10人以内
設置年月日	平成26年5月1日		任期	平成30年5月1日～平成32年4月30日			
関係法令等	滝川市社会教育委員設置条例 滝川市社会教育委員会議規則			所管課	社会教育課		
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
山木 傑	前野 和子	柴尾 智子	柴田 直美				
白神 祐貴	曾根 英司	田中 一徳	前田 静枝				
村田 淳子	芳賀 伸吾						

滝川市文化財保護審議会

【目的】 滝川市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議するために設置。

5月1日現在

会長	大竹 敏章	副会長	高石 啓一	定数	5人以内
設置年月日	昭和46年4月1日	任期	令和元年5月1日～令和3年4月30日		
関係法令等	滝川市文化財保護条例、滝川市文化財保護審議会規則			所管課	美術自然史館
氏名	氏名	氏名	氏名		
大竹 敏章	高石 啓一	江崎 裕子	森 悟朗		
高谷 富士雄					

滝川市スポーツ推進委員

【目的】 スポーツ基本法の規定に基づき、スポーツの振興のため、住民に対し、スポーツの実技の指導
その他スポーツに関する助言を行うために配置。職務については次のとおりである。

- (1) スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整を行うこと
- (2) 住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行うこと
- (3) 住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること
- (4) 学校、公民館等の教育機関その他の行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力すること
- (5) スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し求めに応じ協力すること
- (6) 住民一般に対し、スポーツについての理解を深めること
- (7) 前各号に掲げるもののほか、住民のスポーツの振興のための指導助言を行うこと

設置年月日	昭和37年5月1日	任期	平成31年4月1日～令和3年3月31日	定数	14人以内
関係法令等	スポーツ基本法、滝川市スポーツ推進委員に関する規則			所管課	社会教育課
氏名	氏名	氏名	氏名		
高桑 武行	前田 静枝	松本 留美子	佐藤 寿幸		
佐々木 正志	曾我部 亘	柏木 雅人	久保田 薫		
森 成幸					

2

教育関係団体等一覧

名 称	代 表 者	事務局所在所管課又は施設名
滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議	委員長 春田 淳一	教育総務課 28-8042
滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議	委員長 春田 淳一	教育総務課 28-8042
滝川市教育振興会	会長 宮本 千裕	教育総務課 28-8042
江陵中学校区学校運営協議会	委員長 佐藤 安憲	教育総務課 28-8042
明苑中学校区学校運営協議会	委員長 貝之瀬 雅紀	教育総務課 28-8042
開西中学校区学校運営協議会	委員長 水口 典一	教育総務課 28-8042
江部乙中学校区学校運営協議会	委員長 平澤 一彦	教育総務課 28-8042
滝川西高等学校関係者評価委員会	委員長 佐野 博之	教育総務課 28-8042
滝川市PTA連合会	会長 山下 幸二	滝川第一小学校 23-2219
滝川市青少年育成会連絡協議会	会長 水口 典一	社会教育課 28-8046
滝川市青年交流プラザ振興会	会長 松浦 聖一	社会教育課 28-8046
陶工房たきかわ	会長 原岡 初美	陶芸センター 22-3503
一般財団法人 滝川生涯学習振興会	理事長 細田 光人	中央児童センター 23-0294
滝川市文化連盟	会長 男澤 伸一	振興公社管理ビル 23-5225
特定非営利活動法人岩橋ふるさと北辰振興会	会長 早弓 弘行	美術自然史館 23-0502
たきかわ博物館くらぶ	会長 田中 三郎	美術自然史館 23-0502
滝川市郷土研究会	会長 椿坂 幸夫	郷土館 23-0502
滝川SL愛好会	会長 遠藤 均	郷土館 23-0502
一般財団法人 滝川市体育協会	会長 佐藤 佳朗	滝川市スポーツセンター 第1体育館 23-4617

3

芸術文化団体一覧

滝川市文化連盟事務局

【所在地】 振興公社管理ビル 1 F （大町 2 - 5 - 23） TEL : 23-5225 FAX : 23-5228

《滝川市文化連盟加盟団体》

部 門	団 体 名	代 表 者
邦 楽	新都山流尺八 都栄会	田守 鹿山
	生田流正派 山口社中	山口 雅楽優
	生田流正派 米内山社中	米内山 雅楽泰
	生田流正派 畑山社中	畑山 雅楽智都
	水野箏曲学院 華音の会	南 雅楽悠峰
	国風音楽奨励会生田流小山社中	小山 弘秀
	正派邦楽会 北村社中	北村 雅楽秀峰
	長唄柏干会	柏 伊三千
民 謡	滝川民謡 隆城会	本野 みち子
	滝川民謡 研究会	岡本 智
	滝川民謡 吟栄会	井上 啓子
	滝川民謡 民友会	山口 豊子
	滝川民謡 新詠会	沖 雅昭
	江部乙民謡 研究会	和平 行
	江部乙民謡 友の会	田村 勇
	民謡恵翔会	峯村 孝
詩 吟	桜雲流	西尾 環桜
	鶯窓流 滝鶯会	谷内 鶯園
	鶯窓流 鶯秀会	吉田 鶯秀
	日本詩吟学院 岳風会 滝川吟詠会	齋藤 秀希
音 楽	琴城流 大正琴 滝川愛好会	出村 幸子
	滝川市婦人会音楽部	経塚 玲子
	滝川音楽協会	男澤 伸一
	滝川歌謡愛好会	吉田 茂男
	滝川歌謡クラブ	高坂 克俊
	滝川相撲甚句会	前野 武男
	滝川市民合唱団	木下 昭子
	カラオケ和の会	出村 省三

部 門	団 体 名	代 表 者
	滝川市婦人会レクリエーション部	中嶋 京子
	藤間流真佐喜会	藤間 真佐喜
	叶流雅会	叶 了元
	荻江流紫寿の会	荻江 紫寿峯
	花柳流文乃会	花柳 文乃
	徳本流現代舞踊すずらん会	内田 徳利喜
	叶流子供日本舞踊塾	叶 了元
	藤間流勘一哥会	藤間 勘一哥
	東流寿々代会	東 寿々代
	踊翠流剣詩舞鶴楓会	秋山 京子
	吟剣詩舞 和翔流	前野 翔漱
	藤間流勘喜久哥会	藤間 勘喜久哥
洋 舞	久富淑子バレエ研究所	久富 淑子
	滝川バトントワリング	野崎 絵里香
	y a s u バレエスタジオ	斉藤 やす
	レイアロハフラ	水田 よし子
太 鼓	滝川龍栄太鼓	及川 喜三
太極拳	滝川太極拳クラブ	佐藤 美智代
華 道	池坊滝川支部	所 紫翠
	松月堂古流滝川支部	村田 淳子
	小原流	山下 惇子
	池坊光明流清美会滝川支部	山本 祥水
	池坊清月派青雲会	佐藤 晶青
茶 道	裏千家 上田社中	上田 宗輝
	宗偏流 相川社中	相川 宗純
	宗偏流 岡崎社中	岡崎 宗節
	大和遠州流（茶道） 静月流（煎茶道）	小坂 芳月庵
美 術	全日本写真連盟滝川支部	畑田 巖
	北海道写真協会滝川支部	渡辺 精郎
	滝川書道連盟	遠藤 尚洲
	滝川美術協会	杉吉 貢
工 芸	創作人形エレガンスドール滝川支部	藤澤 満子
文 学	滝川市文学懇話会	深田 義勝
鑑 賞	滝川美術刀剣会	田村 勇
	滝川映画サークル	谷本 敏史
	滝川おやこ劇場	植田 由香
	N P O 法人 アートステージ空知	青木 勝美

4

スポーツ団体一覧

一般財団法人 滝川市体育協会事務局

【所在地】滝川市スポーツセンター第1体育館（二の坂町東3-2-1） TEL：23-4617 FAX：23-4351

《一般財団法人 滝川市体育協会加盟団体》

団 体 名	代 表 者
滝川軟式野球連盟	柴田 文男
滝川ソフトテニス連盟	藤井 謙和
滝川卓球連盟	田村 弘
滝川市バレーボール協会	田中 良吉
滝川バスケットボール連盟	馬場 正憲
滝川バドミントン協会	高山 訓正
滝川剣道連盟	神原 充史
滝川柔道連盟	高野 清志
滝川陸上競技協会	安樂 良幸
滝川スキー協会	有田 賢治
滝川銃剣道連盟	大河 昭彦
滝川クレ射撃協会	田村 勇
滝川弓道連盟	丹保 直喜
滝川市ソフトボール協会	水口 典一
滝川市スポーツ少年団本部	小野 保之
滝川朝野球連盟	山口 清悦
滝川水泳協会	野澤 豊光
滝川テニス協会	田中 豊
滝川サッカー協会	渡邊 龍之
滝川アーチェリー協会	高橋 寛次
滝川ボウリング協会	大河 昭彦
滝川パークゴルフ協会	丸尾 勝
滝川ターゲット・パードゴルフ協会	坂下 薫
滝川ミニバレーボール協会	水口 典一
B & G 滝川海洋クラブ	猪股 浩徳
滝川硬式野球クラブ	高橋 洋一
滝川空手道連盟	佐藤 哲男
滝川コスモスパークゴルフ協会	大阪 史弘
滝川ノルディックウォーキング協会	三品 優次
滝川フットサル協会	渡邊 要
滝川クライミングクラブ	杉山 敏彦
滝川市民ゴルフ場サポーターズクラブ	米倉 慎一
ほろくらスポーツクラブ	淵上 博
滝川合気道協会	目黒 久雄



滝川市の文化財

(1) 北海道指定文化財

名 称	種 別	指 定 日
タキカワカイギュウ化石標本	天然記念物	昭和59年3月12日
滝川屯田兵文書（第二大隊第三中隊・第四中隊文書）	有形文化財	平成28年3月31日

(2) 滝川市指定文化財

指定番号	名 称	種 別	員 数	所有者
1	高畑利宜資料	有形文化財	1,340件	滝川市
2	欠番			
3	華月館	有形文化財	1 棟	滝川市
4	欠番			
5	屯田兵屋	有形文化財	1 棟	滝川市
6	牧羊用石造サイロ	〃	1 基	〃
7	太郎吉蔵（旧五十嵐酒造店倉庫）	〃	1 棟	特定非営利活動法人 アートチャレンジ太郎吉蔵
8	北海道人造石油株式会社滝川工場 関係資料	〃	194点	滝川市

(3) 史跡

滝川市の史跡標柱：52ヶ所

健康都市宣言

わたしたち滝川市民にとって、心や体はもちろん、社会のすべてが健康であることは何よりも大切なことです。

わたしたち一人ひとは、滝川市民憲章のもとに、まち全体の健康をより積極的により創造的に増進させ、まちの未来を切り拓いていかなければなりません。

平成の幕開けにあたり、大空にはばたく滝川2世紀の明るいまちづくりをめざし、熱い決意をこめて「健康都市」を宣言します。

（平成元年4月1日）

環境都市宣言

わたしたちのまち滝川は、石狩川と空知川に育まれた豊かな大地と自然の恵みを受けて、健康で文化的なまちとして発展してきました。

しかし、今、人々の営みは、豊かな自然や調和のとれた地球環境に大きな影響を与えています。

21世紀を迎え、わたしたちは、地球の優れた環境を再生し、美しい地球を未来に引き継ぐため、環境にやさしいまちづくりに努めることを誓います。

（平成15年1月1日）

令和元年度 滝川市の教育

発行・編集 滝川市教育委員会

〒073-8686 滝川市大町1丁目2番15号

TEL:0125-28-8042 FAX:0125-24-1024

【HP アドレス】<http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/260kyouiku/index.html>

【E-mail】shien@city.takikawa.lg.jp

発行日 令和元年8月30日
